PIXUS iP6100D

ダイレクトプリントガイド

～デジタルカメラで撮影した写真を簡単に印刷～

使用説明書

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。



Exif Print　BUBBLE JET DIRECT　PictBridge

J QA7-3373-V02

レイアウトを選んで印刷してみよう

フチなし／フチあり

設定手順については、本書24ページをご覧ください。


フチなし


フチあり

用紙サイズ：L判、2L判、はがき、A4、パノラマ、名刺、カード

レイアウト印刷

印刷手順については、本書31ページをご覧ください。

● 用紙サイズ：L判、2L判、はがき、A4、名刺、カード


2面 フチなし

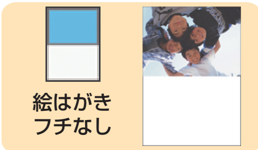

2面 フチあり

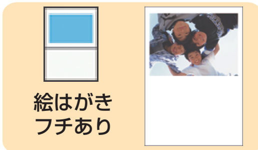

4面 フチなし

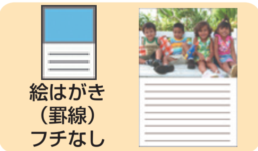

4面 フチあり

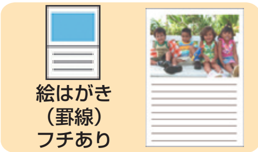

8面 フチなし


8面 フチあり


絵はがき フチなし


絵はがき フチあり


絵はがき（罫線）フチなし


絵はがき（罫線）フチあり


アルバム 4面（右）


アルバム 4面（左）

● 用紙サイズ：A4


ミックス1


ミックス2


ミックス3

ミックス1：2L判＋L判
ミックス2：2L判＋名刺
ミックス3：L判＋名刺

シール紙印刷

印刷手順については、本書33ページをご覧ください。


2面


4面


9面


16面


フリーカット シール1


フリーカット シール2


フリーカット シール3

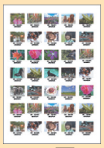

フリーカット シール4

インデックス印刷

印刷手順については、本書40ページをご覧ください。

A4

80面

2L判

35面

はがき

24面

L判

15面

パノラマ

30面

名刺／カード

6面

PIXUS iP6100D　目次

お手入れ

困ったときには

記号について

本書で使用しているマークについて説明します。本書では製品を安全にお使いいただくために、大切な記載事項には下記のようなマークを使用しています。これらの記載事項は必ずお守りください。

⚠ 警告　取扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

⚠ 注意　取扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

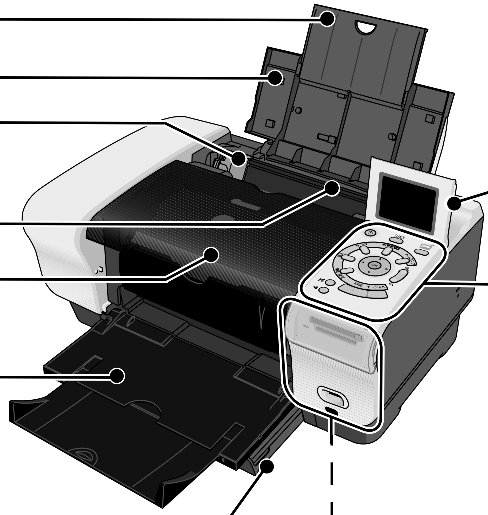
重要　操作上、必ず守っていただきたい重要事項が書かれています。製品の故障・損傷や誤った操作を防ぐために、必ずお読みください。

参考　操作の参考になることや補足説明が書かれています。

各部の名称とメニュー表示について

操作パネルの各部名称と役割、メニューの表示方法と各メニュー項目について説明します。

各部の名称について



用紙サポート

給紙口カバー

用紙ガイド

オートシートフィーダ

カバー

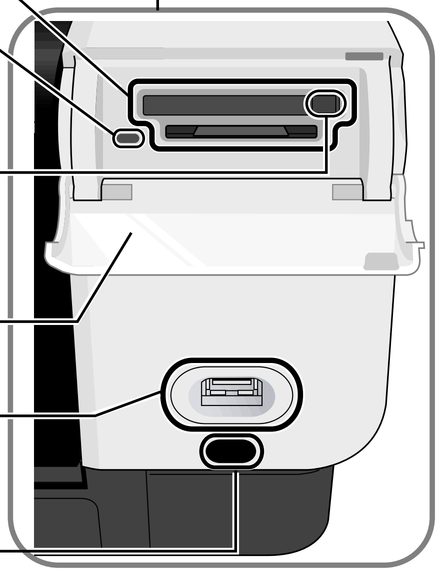
排紙トレイ

カセット

液晶モニター

印刷する写真や、メニュー、設定項目が表示されます。

操作パネル
➔ P.4



カードスロット

撮影済みのメモリーカードをセットします。➔ P.10

アクセスランプ

メモリーカードをセットすると点灯し、読み取り / 書き込み中は点滅します。➔ P.10

カード取り出しボタン

コンパクトフラッシュカード、マイクロドライブなどを取り出すときに押します。➔ P.11

カードスロットカバー

メモリーカードをセットするときに開けます。➔ P.10

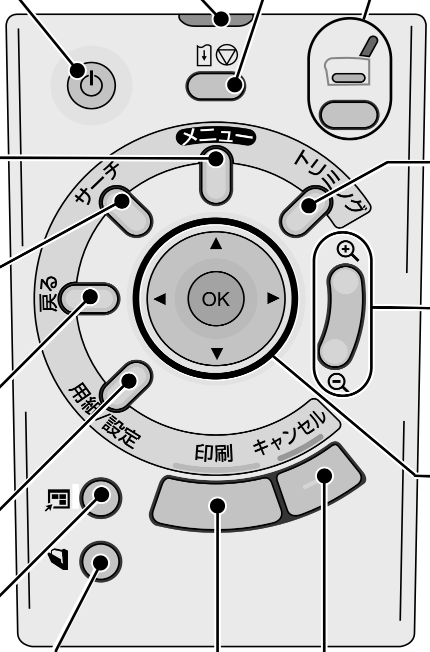
カメラ接続部

本プリンタに対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラから直接印刷するときに使います。➔ P.48

赤外線通信ポート

赤外線通信で携帯電話から送られてきた写真データを受信します。➔ P.54

操作パネルの名称と役割



電源ランプ

電源のオン / オフやエラーの状態を知らせます。

電源ボタン

電源をオン/オフにします。

メニューボタン

メニューを表示します。
➔ P.5

サーチボタン

メモリーカードに保存されている写真の枚数を日付で絞り込みます。➔ P.27

戻るボタン

一つ前の画面に戻ります。

用紙 / 設定ボタン

用紙サイズや用紙の種類、フチのなし / ありの設定画面を表示します。➔ P.24

Easy-PhotoPrint 起動ボタン

アプリケーションソフト「Easy-PhotoPrint」を起動します。➔ P.58

保存ボタン

メモリーカードに保存されている写真をコンピュータのハードディスクに保存できます。
➔ P.59

印刷ボタン

印刷の確認画面に表示された設定内容にしたがって、印刷を開始します。

キャンセルボタン

設定した内容を取り消します。また印刷中にこのボタンを押すと、印刷を中止します。

リセットボタン

プリンタのトラブルを解消してからこのボタンを押すと、エラーが解除されて印刷できるようになります。

給紙切替ボタンとランプ

給紙箇所を切り替えるときに押します。ボタンを押すたびにオートシートフィーダ（➔ P.14）とカセット（➔ P.16）が切り替わります。

トリミングボタン

表示中の写真をトリミング編集できます。➔ P.29

⊕⊖ ボタン

表示中の写真を拡大したり、元の状態に戻します。また、トリミングモードの時には、トリミング範囲を拡大縮小します。
➔ P.30

▲▼◀▶ ボタン

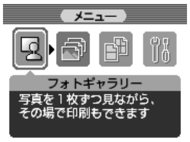
画面に表示される方向にしたがって項目や写真、印刷部数を指定したり、カーソルを移動します。

OK ボタン

印刷する写真の指定、メニュー項目や設定項目を確定します。

メニューについて

メニューボタンを押すと、メニュー項目画面が表示されます。
メニュー項目を使ってこだわりの印刷やプリンタのお手入れができます。



「フォトギャラリー」

メモリカードに保存されている写真を液晶モニターに 1 枚ずつ表示し、
お気に入りの写真をかんたんに印刷できます。

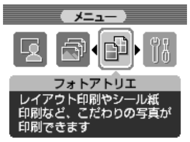
➔「液晶モニターに表示されている写真を印刷する ー フォトギャラリー」（P.20）



「DPE ショップ」

印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定して、一度に印刷できます。

➔「写真ごとに印刷枚数を指定して印刷する ー DPE ショップ」（P.23）



「フォトアトリエ」

選択すると、以下のフォトアトリエ項目を表示します。



「レイアウト印刷」

いろいろな写真を 1 枚の用紙に敷きつめて印刷したり、絵はがき風に印刷できます。

➔「1 枚の用紙に複数の写真を貼り込んで印刷する ー レイアウト印刷」（P.31）



「シール紙印刷」

お気に入りの写真にフレームを付けてキヤノン純正のシール紙に印刷できます。

➔「シール紙に印刷する ー シール紙印刷」（P.33）



「色合い調整印刷」

印刷する写真のサンプルを一枚の用紙に 9 種類の色合いで印刷します。その中から好みの色合いを選んで印刷できます。

➔「好みの色合いで印刷する ー 色合い調整印刷」（P.36）



「すべての写真を印刷」

メモリーカードに保存されている写真をすべて印刷できます。

➔「すべての写真を印刷する ー すべての写真を印刷」（P.39）



「インデックス印刷」

メモリーカードに保存されている写真を一覧にして印刷できます。

➔「写真の一覧を印刷する ー インデックス印刷」（P.40）



「DPOF 印刷」

デジタルカメラの DPOF 設定にしたがって印刷できます。

➔「カメラの設定にしたがって印刷する ー DPOF 印刷」（P.41）



「ツールボックス」

選択すると、以下のツールボックス項目を表示します。

「チェックパターン印刷」

インクが正しく出ているか、プリントヘッドの位置がずれていないかを確認するためのチェックパターンを印刷します。
➔「ノズルチェックパターンを印刷する」（P.68）

「ヘッドクリーニング」

ノズルがつまっているときに、プリントヘッドをクリーニングします。
➔「プリントヘッドをクリーニングする」（P.70）

「ヘッドリフレッシング」

クリーニングを数回行っても効果がないときに実行します。
➔「プリントヘッドをリフレッシングする」（P.72）

「ヘッド位置調整 (自動)」

自動でプリントヘッド位置を調整します。
➔「プリントヘッド位置を調整する － 自動調整」（P.73）

「ヘッド位置調整 (手動)」

手動でプリントヘッド位置を調整します。
➔「プリントヘッド位置を手動で調整するには」（P.76）

「ヘッド位置調整値を印刷」

設定されているヘッド位置の調整値を印刷します。
➔ P.73

「紙間設定」

印刷したときにすじやこすれがあるときに、紙間を［広い］に設定します。
➔「それでも印刷面がこすれるときには」（P.80）

「コントラスト調整」

液晶モニターのコントラストを調整します。
➔「液晶モニターのコントラストを調整する」（P.43）

「サイレント設定」

印刷するときの動作音をおさえます。
➔「印刷するときの動作音をおさえる」（P.44）

「日付並び順設定」

印刷される撮影日の日付の並び順を変更します。
➔「印刷される日付の並び順を変更する」（P.45）

「赤外線通信印刷設定」

赤外線通信で携帯電話の写真を印刷するときに、用紙サイズやレイアウトを設定します。
➔「携帯電話から赤外線通信で印刷する － プリントビーム」（P.54）

「設定リセット」

表示する言語、プリントヘッド位置以外の設定をご購入時の設定に戻します。
➔「設定をリセットする」（P.46）

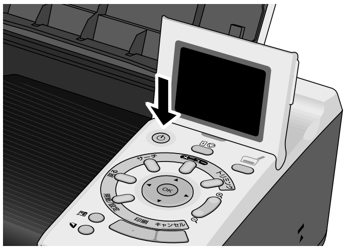
「言語選択」

液晶モニターに表示される言語を設定します。
➔「表示する言語を変更する」（P.47）

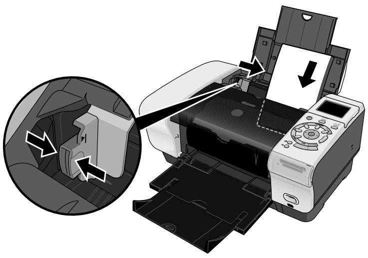
印刷の流れ

デジタルカメラのメモリーカードをプリンタにセットして、写真を印刷する操作の流れについて説明します。

Step 1 プリンタの電源を入れる

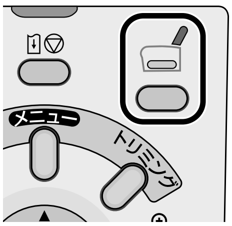


Step 2 用紙をセットする



「用紙をセットする」➔ P.12

Step 3 給紙箇所を確認する



「給紙箇所を確認する」➔ P.20

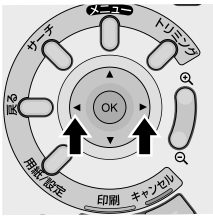
Step 4 メモリーカードをセットする



「メモリーカードをセットする」➔ P.10

Step 5 印刷メニューを選ぶ

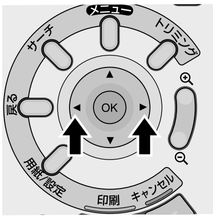
◀ ▶ボタンを押して印刷メニューを選びます。





Step 6 印刷したい写真を選ぶ

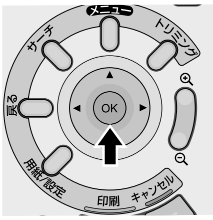
◀ ▶ボタンを押して印刷したい写真を選びます。





Step 7 設定を確認する

写真を選んで［OK］ボタンを押すと、印刷確認画面が表示されます。



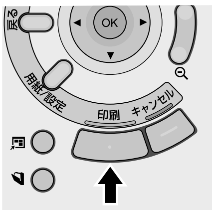


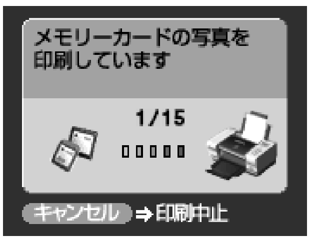
設定を変更したい場合は［用紙 / 設定］ボタンを押してください。

➔「印刷設定を変更する」（P.24）

Step 8 印刷を開始する

［印刷］ボタンを押すと、印刷が始まります。



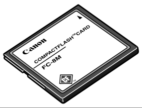
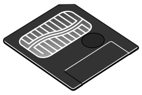
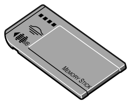
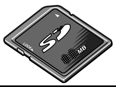


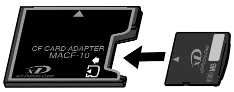
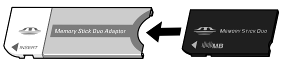
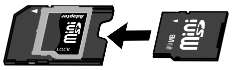
メモリーカードについて

使用できるメモリーカード、各メモリーカードのセット方法と取り出し方法について説明します。

使用できるメモリーカードについて

以下のメモリーカードが使用できます。

カードスロットに直接セット可能なメモリーカード	
	コンパクトフラッシュ（CF）カード TYPE Ⅰ /TYPE Ⅱ（3.3V）に対応しています。 マイクロドライブ
	スマートメディア 3.3V のカードのみ対応しています。 1MB/2MB のカードは対応していません。
	メモリースティック メモリースティック PRO マジックゲートメモリースティック
	SD メモリーカード マルチメディアカード

アダプタを使用してカードスロットにセットするメモリーカード	
	xD-Picture カード *[1]
	メモリースティック Duo*[2] メモリースティック PRO Duo*[2] マジックゲートメモリースティック Duo*[2]
	mini SD カード *[2]

*[1] 別途 xD-Picture カード用コンパクトフラッシュカードアダプタをお買い求めください。
推奨 xD-Picture Card アダプタ（2004 年 9 月現在）
●富士写真フイルム株式会社製　型番：DPC-CF
●オリンパス株式会社製　型番：MACF-10

*[2] カードに付属の専用アダプタを使用してください。

重要

- 本プリンタは JPEG （DCF/CIFF/Exif2.21 以下 /JFIF)、TIFF（Exif 準拠)、および DPOF（Ver1.00 準拠）に対応しています。
- デジタルカメラが対応していないメモリーカードに保存されている写真は、読み込めない場合や写真データが破損する場合があります。デジタルカメラが対応しているメモリーカードについては、デジタルカメラに付属の使用説明書を参照してください。
- メモリーカードは、デジタルカメラでフォーマットしてください。コンピュータ固有のフォーマットには対応していません。
- コンピュータで編集した写真は、正しく印刷できないことがあります。
- １種類のメモリーカードのみをセットしてください。

メモリーカードをセットする

参考

- プリンタのカードスロットをコンピュータのメモリーカード用ドライブとして［読み取り / 書き込み可能モード］にしている場合は、印刷ができなくなります。メモリーカード用ドライブとしての操作を終了後、［読み取り専用モード］に戻してください。➔ P.59
- メモリーカードのデータをコンピュータで編集・加工したときは、必ずコンピュータから印刷してください。操作パネルから印刷を行うと、正しく印刷できないことがあります。

1 プリンタの電源を入れる

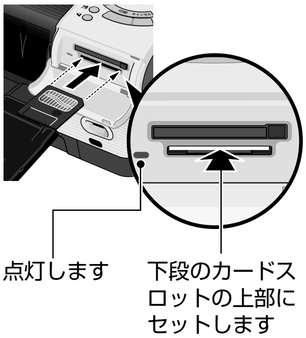


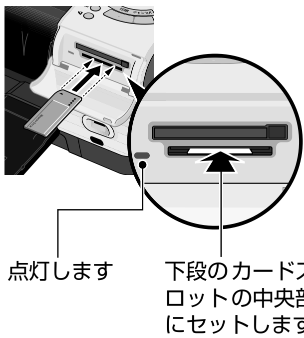
2 カードスロットカバーを開ける

3 メモリーカードをカードスロットにセットする

- コンパクトフラッシュ
- マイクロドライブ
- xD-Picture カード *
- スマートメディア
- メモリースティック
- メモリースティック PRO
- マジックゲートメモリースティック
- メモリースティック Duo*
- メモリースティック PRO Duo*
- マジックゲートメモリースティック Duo*
- SD メモリーカード
- miniSD カード *
- マルチメディアカード







* 専用のアダプタに取り付けてから、カードスロットにセットしてください。

4 アクセスランプが点滅した後、点灯したことを確認してください。

重要

- メモリーカードの向きをよく確認して、カードスロットにセットしてください。間違った向きで無理にセットすると、プリンタやメモリーカードが破損するおそれがあります。
- アクセスランプが点滅しているときはメモリーカードを取り出したり、プリンタの電源を切らないでください。メモリーカードが破損するおそれがあります。

メモリーカードを取り出す

参考

プリンタをコンピュータに接続して使用している場合は、コンピュータ側での取り外し操作が必要になります。操作方法については、『プリンタ活用ガイド』（プリンタソフトウェア CD-ROM）の「メモリーカードユーティリティを使う」をご覧ください。

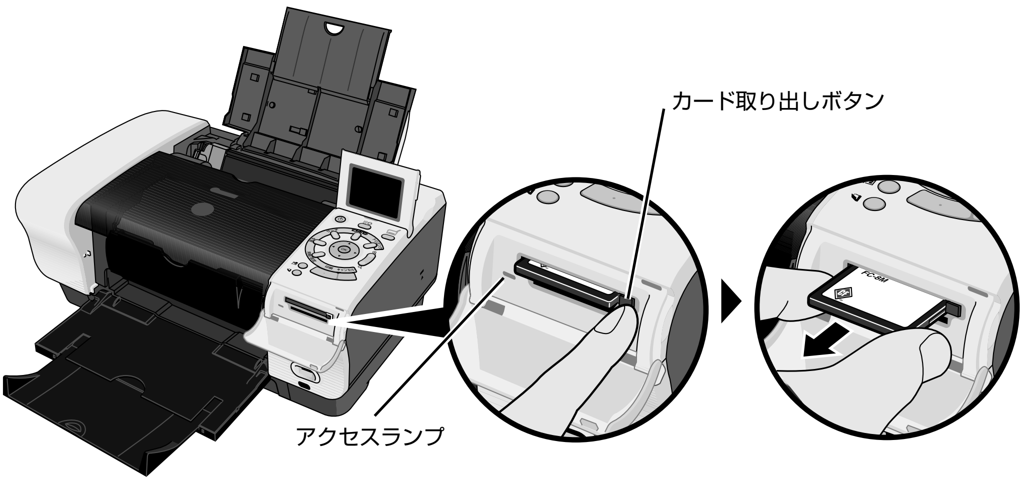
1 アクセスランプが点滅していないことを確認してカードを取り出す

重要

アクセスランプが点滅しているときにメモリーカードを取り出したり、プリンタの電源を切ると、メモリーカードのデータが破損することがあります。

● コンパクトフラッシュ（CF）カード / マイクロドライブ /xD-Picture カードをご使用の場合

アクセスランプが点滅していないことを確認し、カード取り出しボタンを押して、カードを取り出してください。



● その他のカードをご使用の場合

アクセスランプが点滅していないことを確認し、カードのはみ出した部分をつまんで、カードを取り出してください。

用紙について

用紙のセット方法、操作パネルで設定できる用紙サイズと用紙の種類について説明します。

用紙をセットする

■ 使用できない用紙について

以下の用紙は使用しないでください。きれいに印刷できないだけでなく、紙づまりや故障の原因になります。また、A5 サイズより小さい用紙（はがき /L 判など）に印刷するときは、官製はがきより薄い紙、普通紙やメモ用紙を裁断した用紙を使用しないでください。

- 折れている / カールしている / しわになっている用紙
- 濡れている用紙
- 薄すぎる用紙（重さ 64 g/m^2 未満）
- 厚すぎる用紙（キヤノン純正紙以外で重さ 105 g/m^2 を超えるもの）
- 絵はがき
- 往復はがき
- 写真付きはがきやステッカーを貼ったはがき
- 封筒
- 穴のあいている用紙（ただしルーズリーフはオートシートフィーダのみ使用できます）

■ 用紙の取り扱いについて

用紙を取扱うときは、以下の事項に注意してください。

- 用紙はできるだけ端を持ち、印刷面に触れないようにしてください。印刷面に傷がついたり汚れがつくと、印刷の品質が低下することがあります。
- インクが乾くまで印刷面には触らないでください。また、印刷済みの用紙を濡らしてしまった場合は、乾くまで印刷面に触れないでください。
- 用紙によっては、インクを大量に使う印刷をすると用紙がカールして印刷面がこすれることがあります。この場合は、ツールボックスの［紙間設定］で［広い］を選んでください。➔「それでも印刷面がこすれるときには」（P.80）
  また、このような用紙は写真やグラフィックスを含む原稿の印刷にはお勧めできません。文字中心の原稿の印刷にご使用になることをお勧めします。
- 端が折れていたり、しわが寄っているなど、状態の悪い用紙は使わないでください。カールしている場合は、カールを直してから印刷してください。直しかたについては、「困ったときには」の「用紙が汚れる / 印刷面がこすれる / 用紙がうまく送られない」の「適切な用紙を使用していない」（➔ P.79 ）を参照してください。
- 使わなかった用紙は入っていた袋に入れ、直射日光の当たる場所や高温多湿な場所を避けて保管してください。曲がったり、しわにならないよう水平に置いてください。

オートシートフィーダとカセットについて

このプリンタでは、上部のオートシートフィーダと前面のカセットの２箇所に用紙をセットできます。オートシートフィーダは、小さいサイズの用紙なども手軽にセットできるので、いろいろなサイズや種類の用紙を頻繁に取り替えて印刷する場合に便利です。
カセットは、よく使う用紙をセットしておく使い方ができるので、印刷するたびに用紙を追加する手間が省けます。決まった種類の用紙に大量に印刷する場合に便利です。

重要
シール紙、名刺サイズやカードサイズの用紙はオートシートフィーダにセットします。カセットからは印刷できません。

オートシートフィーダとカセットの２箇所を利用することで、次のような使い方ができます。

■ 異なる種類 / サイズの用紙を切り替えて印刷する

例えば、一方には普通紙、もう一方には光沢紙をセットしておくと、給紙箇所を切り替えるだけで２種類の用紙に印刷できるので、用紙をセットし直す手間が省けます。
給紙箇所の切り替えは、プリンタの給紙切替ボタンで行います。

■ 設置場所に合わせて給紙方法を選ぶ

室内のレイアウトや設置スペースに合わせて、オートシートフィーダかカセットのどちらか一方だけを使うことができます。例えば、カセットだけを使用するようにすると、棚段のような限られたスペースの場所に置いても利用できます。

参考
用紙サイズやメンテナンス作業によっては、必ずオートシートフィーダを使わなければならないものがあります。カセットだけを使用する場合は、ご利用に支障がないかあらかじめご確認ください。

➔ 「キヤノン製専用紙」（P.19）

オートシートフィーダから給紙する

■ 用紙のセット方法

用紙のセット方法について、L 判サイズの用紙を例に説明します。

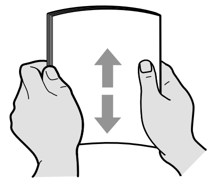
重要

はがきを印刷するときは、写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。

参考

写真を印刷するときは、キヤノン製の専用紙のご使用をお勧めします。

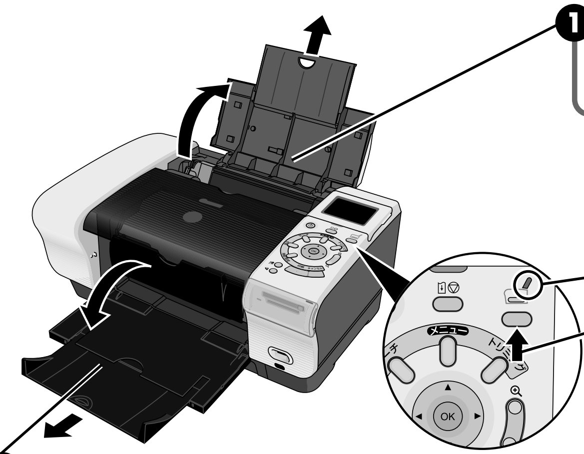
1 セットする用紙をそろえる



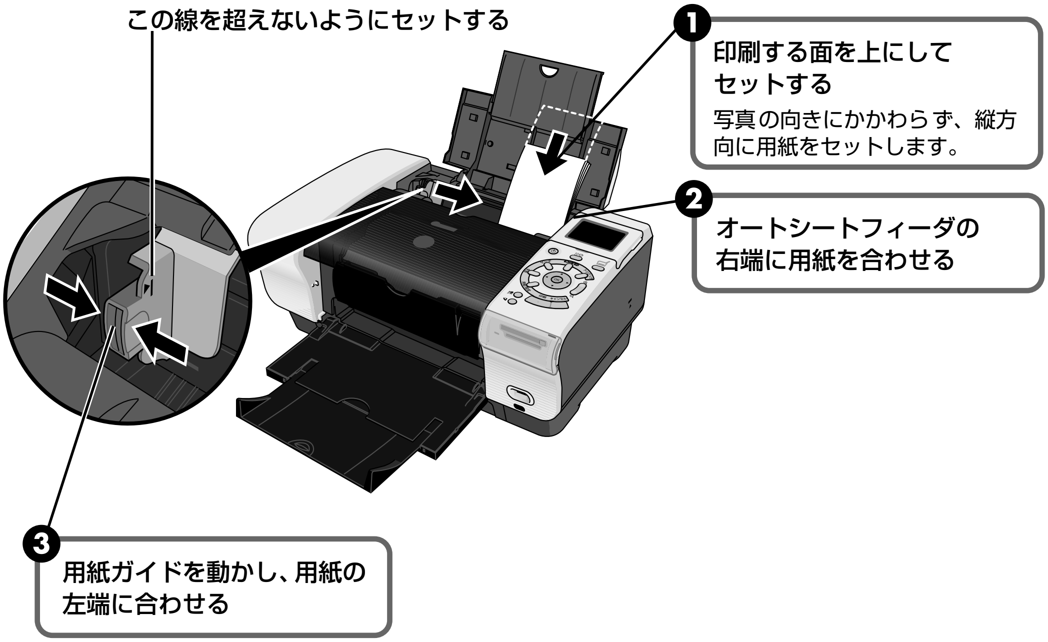
参考

- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「用紙が汚れる / 印刷面がこすれる / 用紙がうまく送られない」の「適切な用紙を使用していない」（➔ P.79 ）を参照してください。

2 用紙をセットする準備



3　用紙をセットする



参考

- 普通紙としては、複写機などで使用される一般的な A4 サイズのコピー用紙やキヤノン製専用紙スーパーホワイトペーパー SW-101 が使用できます。

  用紙の重さ　64 ～ 105g/m^2

- 普通紙は 64g/m^2 で約 150 枚（高さ 13mm）までセットできます。ただし排紙トレイに 50 枚程度たまったら取り除くようにしてください。
- はがきとしては、官製はがき（［普通紙］*）、プロフェッショナルフォトはがき PH-101（［プロフォトペーパー］*)、フォト光沢はがき KH-201N（[光沢紙］*）が使用できます。
  *［用紙 / 設定］ボタンを押して、［設定 1：基本］タブ❷（➔ P.26）で用紙種類を選びます。

  ハイグレードコートはがき CH-301、インクジェット官製はがき、インクジェット光沢官製はがきは、コンピュータと接続して印刷することができます。
- 官製はがきは 40 枚までセットできます。キヤノン製専用紙の積載枚数については「キヤノン製専用紙」（➔ P.19）を参照してください。
- 普通紙以外の用紙は、印刷が終わった後、重ならないように一枚ずつ排紙トレイから取り除いてください。
- 用紙を持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。

カセットから給紙する

■ 用紙のセット方法

用紙のセット方法について、L 判サイズの用紙を例に説明します。

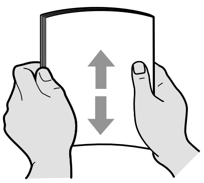
重 要

- はがきを印刷するときは、写真付きはがきやステッカーが貼ってあるはがきには印刷できません。
- シール紙、名刺サイズやカードサイズの用紙はカセットからは印刷できません。特にシール紙は、カセットから印刷すると、シールがはがれたりして故障の原因となります。

参 考

写真を印刷するときは、キヤノン製の専用紙のご使用をお勧めします。

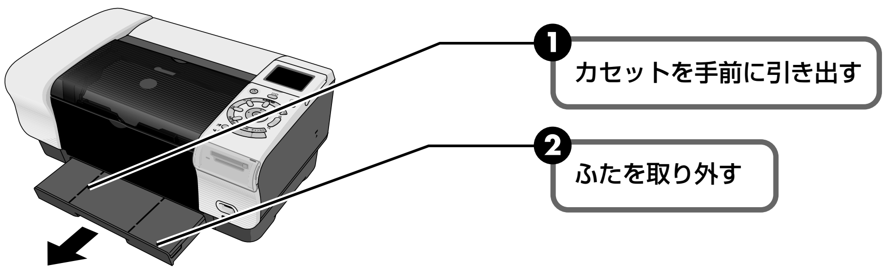
1 セットする用紙をそろえる

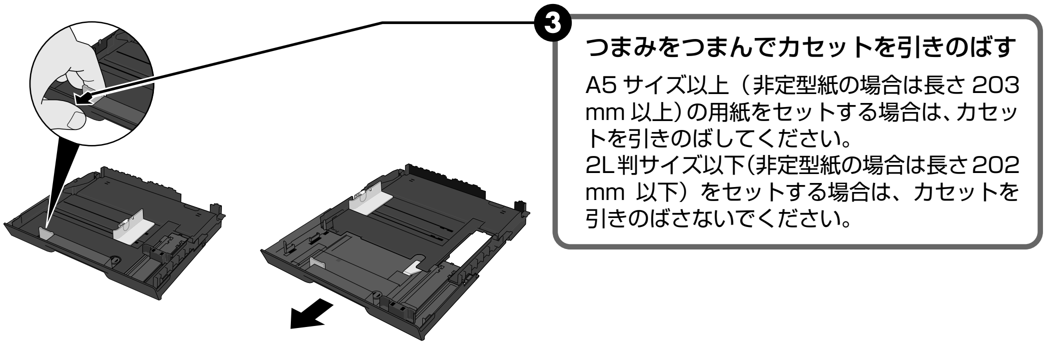


参 考

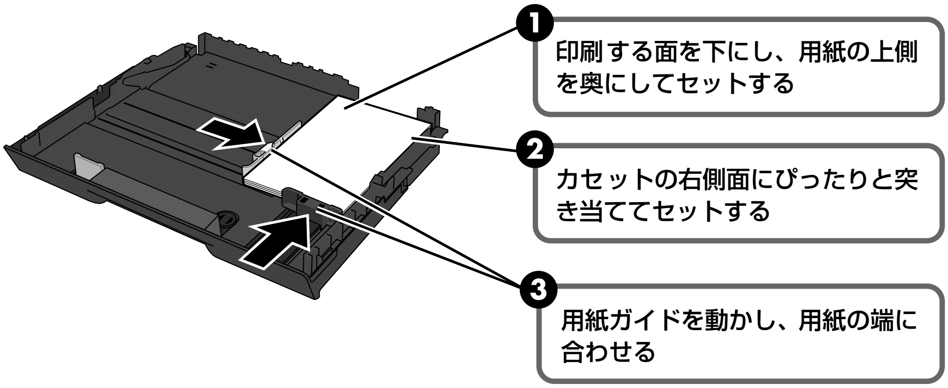
- 用紙の端をきれいにそろえてからセットしてください。用紙の端をそろえずにセットすると、紙づまりの原因となることがあります。
- 用紙に反りがあるときは、反りを直してから（表面が波状にならないように）セットしてください。反りの直しかたについては、「困ったときには」の「用紙が汚れる / 印刷面がこすれる / 用紙がうまく送られない」の「適切な用紙を使用していない」（➔ P.79 ）を参照してください。

2 用紙をセットする準備





3 用紙をセットする



参考

- 普通紙としては、複写機などで使用される一般的な A4 サイズのコピー用紙やキヤノン製専用紙スーパーホワイトペーパー SW-101 が使用できます。

  用紙の重さ 64 ～ 105g/m^2

- 普通紙は 64g/m^2 で約 150 枚（高さ 13mm）までセットできます。ただし排紙トレイに 50 枚程度たまったら取り除くようにしてください。
- はがきとしては、官製はがき（［普通紙］*）、プロフェッショナルフォトはがき PH-101（［プロフォトペーパー］*）、フォト光沢はがき KH-201N（［光沢紙］*）が使用できます。
  *［用紙 / 設定］ボタンを押して、［設定 1：基本］タブ❷（➔ P.26）で用紙種類を選びます。

  ハイグレードコートはがき CH-301、インクジェット官製はがき、インクジェット光沢官製はがきは、コンピュータと接続して印刷することができます。
- 官製はがきは 40 枚までセットできます。キヤノン製専用紙の積載枚数については「キヤノン製専用紙」（➔ P.19）を参照してください。
- 普通紙以外の用紙は、印刷が終わった後、重ならないように一枚ずつ排紙トレイから取り除いてください。
- 用紙を持つときは、できるだけ端を持ち、インクが乾くまで印刷面に触らないでください。

4　カセットをプリンタにセットする

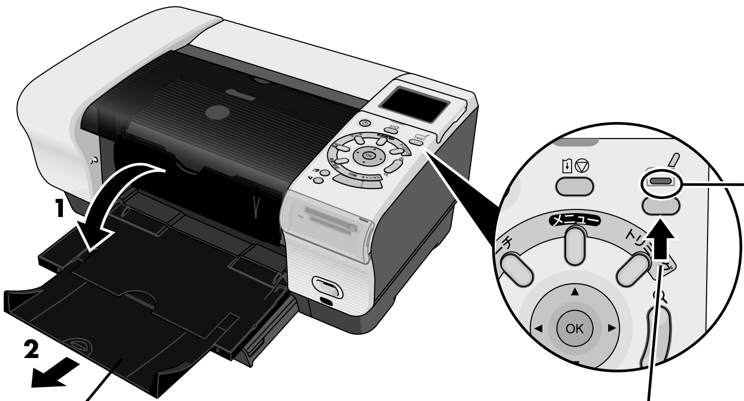


❶ ふたを閉じる

❷ カセットをプリンタに差し込む

奥に突き当たるまでまっすぐ押し込んでください。カセットを引きのばした場合は、左のようにプリンタ本体からカセットの一部が出た状態になります。

5　排紙トレイをセットする



❶ 排紙トレイを手前に開き、排紙補助トレイを引き出す

❷ 給紙切替ボタンを押して、カセットランプを点灯させる

キヤノン製専用紙

ダイレクト印刷にお勧めするキヤノン製専用紙を一覧表にまとめました。

用紙の名称	型番	最大積載枚数	用紙サイズ	用紙の種類
カラー BJ 用普通紙	LC-301	厚さ 13mm 以下	[A4]	[普通紙]
スーパーホワイトペーパー	SW-101	厚さ 13mm 以下	[A4]	[普通紙]
	SW-201			
プロフェッショナルフォトペーパー	PR-101	10 枚 *[1]	[A4]	[プロフォト ペーパー]
	PR-101 L	20 枚	[L 判]	
	PR-101 2L	10 枚	[2L 判]	
プロフェッショナルフォトはがき	PH-101	20 枚	[はがき]	[プロフォト ペーパー]
スーパーフォトペーパー	SP-101	10 枚 *[1]	[A4]	[スーパーフォト]
	SP-101 L	20 枚	[L 判]	
	SP-101 2L	10 枚	[2L 判]	
	SP-101 パノラマ	10 枚	[パノラマ]	
スーパーフォトペーパー・シルキー	SG-101	10 枚	[A4]	[スーパーフォト]
	SG-101 L	20 枚	[L 判]	
マットフォトペーパー	MP-101	10 枚	[A4]	[マットフォト]
	MP-101 L	20 枚	[L 判]	
エコノミーフォトペーパー	EC-101L	20 枚	[L 判]	[光沢紙]
	EC-101 カード	20 枚 *[2]	[カード]	
フォト光沢ハガキ	KH-201N	20 枚	[はがき]	[光沢紙]
高品位専用紙	HR-101S	80 枚	[A4]	[マットフォト]
キヤノン光沢紙	GP-401	10 枚	[A4]	[光沢紙]
片面光沢名刺用紙	KM-101	20 枚 *[2]	[名刺]	[スーパーフォト]
両面マット名刺用紙	MM-101	20 枚 *[2]		
ピクサスプチシール *[3]（16 面光沢フォトシール）	PS-101	1 枚 *[2]	[シール紙]	
フォトシールセット *[3]（2 面、4 面、9 面、16 面）	PSHRS	1 枚 *[2]	[シール紙]	

参考

*[1] 用紙がうまく給紙されない場合、用紙が貼り付くのを防ぐため、オートシートフィーダにセットする際は、一枚ずつはがして必要枚数（最大 10 枚）をセットしてください。

*[2] カセットから給紙できません。

*[3] シール紙に印刷するときは、[フォトアトリエ] から [シール紙印刷] を選び印刷してください。➔ P.33
または、携帯電話の写真を印刷するときに、[赤外線通信印刷設定] で用紙サイズに [シール紙] を指定することで印刷することができます。➔ P.54

- メモリーカードの写真を印刷するときの、用紙サイズと用紙種類の設定方法については「印刷設定を変更する」（➔ P.24）を参照してください。
- 携帯電話の写真を印刷するときの、用紙サイズと用紙種類の設定方法については、「印刷する用紙やレイアウトを設定する － 赤外線通信印刷設定」（➔ P.54）を参照してください。
- デジタルカメラの写真を印刷するときの、用紙サイズと用紙種類、また設定方法については、「デジタルカメラと直接つないで印刷してみよう」（➔ P.48）を参照してください。

写真を印刷する

デジタルカメラのメモリーカードに保存されている写真を、一枚選んで印刷してみましょう。

液晶モニターに表示されている写真を印刷する ー フォトギャラリー

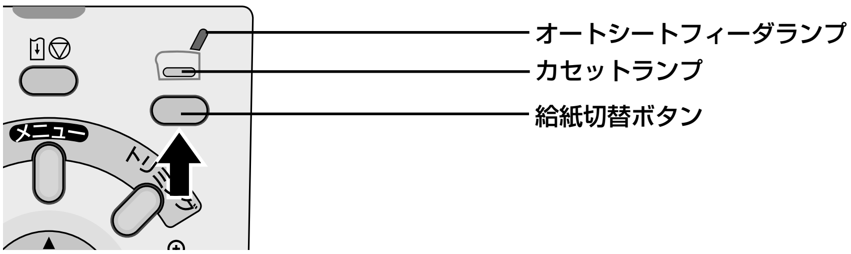
メモリーカードの写真を印刷します。

1 プリンタの電源ボタンを押して、電源を入れる

2 用紙をセットする → P.12

3 給紙箇所を確認する

印刷を開始する前に給紙箇所と実際に用紙をセットした箇所が合っているか確認してください。給紙切替ボタンを押すと給紙箇所が切り替わります。



参考

オートシートフィーダに用紙をセットしている場合はオートシートフィーダランプが、カセットに用紙をセットしている場合はカセットランプが点灯していることを確認してください。

4 メモリーカードをカードスロットにセットする → P.10

5 印刷メニューを選ぶ

❶［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ ボタンを押して「フォトギャラリー」を選び、［OK］ボタンを押します。
写真選択画面が表示されます。

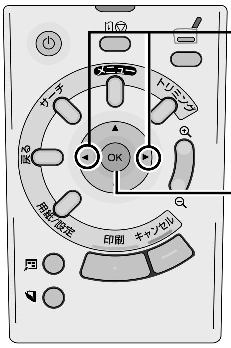
参考

写真を読み込み中は、液晶モニターに が表示される場合があります。

重要

プリンタの電源を入れた状態で５分以上操作パネルでボタン操作を行わない場合、液晶モニターがスリープモードになり、画面が消えます。▲ ▼ ◀ ▶ ボタンを押すとスリープモードは解除され、画面は元に戻ります。

6 印刷したい写真を選ぶ



❶ ◀ ▶ ボタンを押して、印刷したい写真を表示します。

❷［OK］ボタンを押します。
印刷確認画面が表示されます。

写真を拡大して表示するには

液晶モニターに表示されている写真を、以下の操作で拡大して表示することができます。

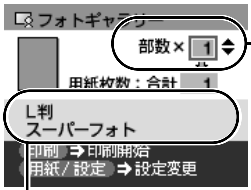


▲ ▼ ◀ ▶ でスクロール

参考

- メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、撮影日で範囲を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。「印刷する写真を日付で絞り込む ー サーチ」（➔ P.27 ）を参照してください。
- トリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチなし / フチありを指定後、トリミング編集してください。「印刷する範囲を指定する ー トリミング」（➔ P.29 ）を参照してください。

7 設定を確認する



❶ 用紙サイズ、用紙の種類を確認します。

参考

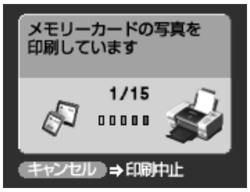
用紙サイズ、用紙の種類、その他の印刷設定を確認、変更したい場合は［用紙 / 設定］ボタンを押してください。「印刷設定を変更する」（➔ P.24）を参照してください。

❷ ▲ ▼ボタンを押して印刷部数を指定します。

8 印刷を開始する

［印刷］ボタンを押します。

印刷が始まります。



写真ごとに印刷枚数を指定して印刷する ー DPE ショップ

写真ごとに印刷枚数を指定して印刷できます。

1 印刷の準備をする

1. プリンタの電源ボタンを押して、電源を入れます。
2. 用紙をセットします。➔ P.12
3. 給紙箇所を確認します。➔ P.20
4. メモリーカードをカードスロットにセットします。➔ P.10

2 印刷メニューを選ぶ

1. ［メニュー］ボタンを押します。



2. ◀ ▶ボタンを押して「DPE ショップ」を選び、［OK］ボタンを押します。
写真選択画面が表示されます。

3 写真ごとに印刷枚数を指定する

1. ◀ ▶ボタンを押して印刷したい写真を表示します。



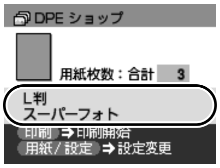
2. ▲ ▼ボタンを押して、印刷枚数を指定します。
3. 操作 1、2 を繰り返し、印刷したい写真ごとに印刷枚数を指定します。
4. ［OK］ボタンを押します。
印刷確認画面が表示されます。

参考

- 液晶モニターに表示されている写真を ⊕ ⊖ ボタンを押して拡大 / 縮小して表示することができます。「写真を拡大して表示するには」（➔ P.21 ）を参照してください。
- メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、撮影日で範囲を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。「印刷する写真を日付で絞り込む ー サーチ」（➔ P.27 ）を参照してください。
- 印刷する写真を日付で絞り込む前に、すでに印刷枚数を指定した写真がある場合、その写真は指定する日付の範囲以外の写真であっても印刷されます。
- 写真ごとにトリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチなし / フチありを指定後、トリミング編集してください。「印刷する範囲を指定する ー トリミング」（➔ P.29 ）を参照してください。

4 設定を確認する

設定内容を変更するときは、[用紙 / 設定] ボタンを押してください。(下記「印刷設定を変更する」を参照してください。)



5 印刷を開始する

[印刷] ボタンを押します。
写真ごとに指定した枚数が印刷されます。

印刷設定を変更する

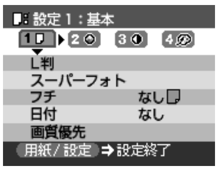
用紙サイズや用紙の種類、フチのなし / ありなど印刷設定を変更することができます。

■ 印刷設定の変更方法

ここでは、[加工] タブを [セピア] に設定する操作を例に、設定変更の手順について説明します。設定項目については「各設定タブの設定項目」(➔ P.26) を参照してください。

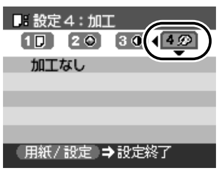
1 [用紙 / 設定] 画面を表示させる

[用紙 / 設定] ボタンを押します。
[用紙 / 設定] 画面が表示されます。



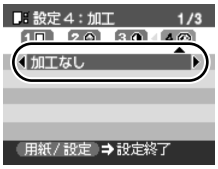
2 設定タブを選ぶ

◀▶ ボタンを押して、設定タブを選びます。
例：4 のタブを選びます。



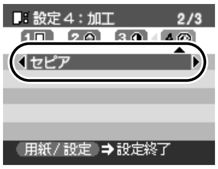
3 設定項目を選ぶ

▲▼ボタンを押して設定項目を選びます。
例：［加工なし］にカーソルを合わせます。



4 選択項目を表示する

◀▶ボタンを押して設定する項目を表示します。
例：［セピア］に変更します。



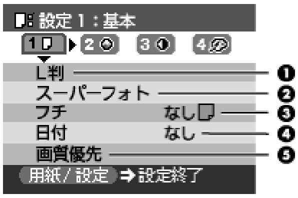
5 設定変更を終了する

［用紙 / 設定］ボタンを押します。

元の画面に戻ります。

■ 各設定タブの設定項目

各設定タブでは以下のような項目があります。



設定 1: 基本
印刷する用紙やフチのなし / あり、日付印刷などの設定ができます。

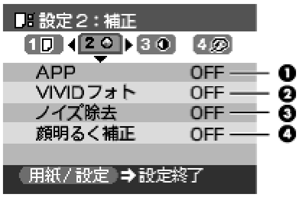
❶用紙サイズを設定できます。
L 判 /2L 判 / はがき /A4/ 名刺 / カード / パノラマ

❷用紙種類を設定できます。
プロフォトペーパー / スーパーフォト / マットフォト / 光沢紙 / 普通紙

❸フチなし / フチあり
フチのなし / ありを設定できます。

❹日付なし / 日付あり
日付のなし / ありを設定できます。

❺画質優先 / 速度優先
画質を優先して印刷するか、印刷速度を優先して印刷するか設定できます。
用紙種類が［プロフォトペーパー］のときは［画質優先］を選んでください。



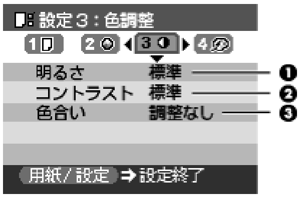
設定 2: 補正
次の機能を使って印刷する写真を補正することができます。
補正するときは、巻末の「写真をきれいに印刷しよう」の例もあわせてご覧ください。

❶APP ON/APP OFF
［APP ON］を選ぶとオートフォトパーフェクト機能（写真の色合いや明るさを自動補正）が有効になります。

❷VIVID フォト ON/VIVID フォト OFF
［VIVID ON］を選ぶと、VIVID フォト機能（緑や青色をより鮮やかに印刷）が有効になります。

❸ノイズ除去 ON/ ノイズ除去 OFF
［ノイズ除去 ON］を選ぶと、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを軽減できます。

❹顔明るく補正 ON/ 顔明るく補正 OFF
［顔明るく補正 ON］を選ぶと、逆光などで暗くなった人物の顔を明るく印刷できます。



設定 3: 色調整
印刷する写真の明るさやコントラスト、色合いを変更することができます。
色調整するときは、巻末の「写真をきれいに印刷しよう」の例もあわせてご覧ください。

❶明るさを調整します。
明るさ＋ 2/ 明るさ＋ 1/ 明るさ 標準 / 明るさ－ 1/ 明るさ－ 2/

❷コントラストを調整できます。
コントラスト＋ 2/ コントラスト＋ 1/ コントラスト標準 / コントラスト－ 1/ コントラスト－ 2

❸色合いを調整できます。
例えば、肌の色味の赤を強くしたり、黄色を強くすることができます。
肌色赤＋ 2/肌色赤＋ 1/ 色合い調整なし / 肌色黄＋ 1/ 肌色黄＋ 2



設定 4: 加工
写真をセピア色の濃淡だけで印刷したりイラスト風に印刷したりなど、写真の加工種類を変更することができます。
加工するときは、巻末の「写真をきれいに印刷しよう」の例もあわせてご覧ください。

加工なし / セピア / イラストタッチ

便利な印刷機能を使う

メモリーカードから印刷する操作には､次のような機能があります。

- 印刷する写真を日付で絞り込む ー サーチ ➔ P.27
- 印刷する範囲を指定する ー トリミング ➔ P.29
- 一枚の用紙に複数の写真を貼り込んで印刷する ー レイアウト印刷 ➔ P.31
- シール紙に印刷する ー シール紙印刷 ➔ P.33
- 好みの色合いで印刷する ー 色合い調整印刷 ➔ P.36
- すべての写真を印刷する ーすべての写真を印刷 ➔ P.39
- 写真の一覧を印刷する ー インデックス印刷 ➔ P.40
- カメラの設定にしたがって印刷する ー DPOF 印刷 ➔ P.41

印刷する写真を日付で絞り込む ー サーチ

メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、写真の撮影日を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけを表示させたり、印刷することができます。

参考

- サーチモードで日付の範囲を指定すると［フォトギャラリー］､［DPE ショップ］､［レイアウト印刷］､［シール紙印刷］､［色合い調整印刷］で指定された日付の範囲だけを表示させたり、印刷することができます。
- 印刷する写真を日付で絞り込む前に､すでに印刷枚数を指定した写真がある場合や、すでにレイアウトに貼り込んだ写真がある場合、その写真は指定する日付の範囲以外の写真であっても印刷されます。
- ［すべての写真を印刷］､［インデックス印刷］では指定された日付の範囲の写真だけを印刷できます。

1 サーチ画面を表示する

［サーチ］ボタンを押します。
サーチ画面が表示されます。



参考

メモリーカードに保存されている写真数によっては、サーチ画面が表示されるまで時間がかかる場合があります。

2 絞り込む日付範囲を指定する

参考

指定する日付は「日付並び順設定」（➔ P.45）にしたがって表示されます。

❶ ◀ ▶ ボタンを押して絞り込む範囲の一番古い撮影日を指定します。



絞り込む範囲の一番古い撮影日

❷ ▼ ボタンを押してカーソルを下側に移動させます。

❸ ◀ ▶ ボタンを押して絞り込む範囲の一番新しい撮影日を指定します。



絞り込む範囲の一番新しい撮影日

3 絞り込みを開始する

［OK］ボタンを押します。
絞り込みが行われて指定した範囲の写真が表示されます。



メモリーカードに保存されている写真枚数



色が変わって、絞り込み後の写真枚数が表示されます。

参考

サーチモードを解除するには

サーチモードを解除するには以下の操作にしたがってください。
①［サーチ］ボタンを押して、サーチ画面を表示します。
②［キャンセル］ボタンを押します。
サーチモードが解除され、メモリーカードに保存されているすべての写真を表示 / 印刷できます。また、メモリーカードを取り出すことでも、サーチモードを解除することができます。

印刷する範囲を指定する ー トリミング

液晶モニターに表示されている写真のトリミング編集を行うことができます。

３分割法ガイドでトリミング

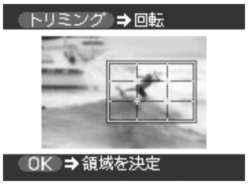
写真を撮る場合、一般的に撮りたい被写体を真ん中に配置させるために、どうしても平たんな構図になりがちです。そこで、人が美しいと感じる画面構成の法則である３分割法（縦、横それぞれを３分割）を活用した「３分割法ガイド」でバランスのとれた構図の写真を印刷してみましょう。同じ写真でも構図を変えるだけで、見違えるような絵心のある写真に仕上がります。

印刷する写真



写真の中央に被写体がある構図

液晶モニター



ガイドの交点を被写体に近づけて、被写体が大きくなるようにトリミング範囲を縮小させます。

印刷結果



バランスのとれた構図

参考

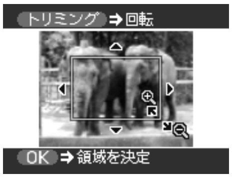
［用紙 / 設定］画面で、用紙サイズや用紙の種類、フチなし / フチありを指定後、トリミング編集をしてください。トリミング編集後に設定を変更すると、トリミング編集が用紙に合わせて補正されたり無効になる場合があります。

1 トリミング編集したい写真を選ぶ

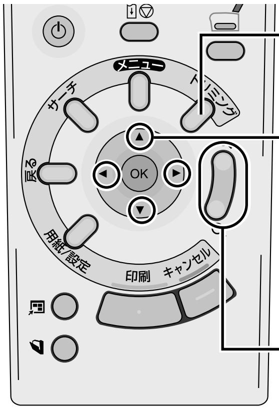
トリミング編集を行いたい写真を選びます。

2 トリミングの編集画面を表示する

［トリミング］ボタンを押します。
トリミングの編集画面が表示されます。



3 印刷したい範囲をトリミングする



トリミングする範囲を回転する
再度［トリミング］ボタンを押すと、トリミング範囲を回転できます。

トリミングする範囲を移動する
▲▼ ◀ ▶ボタンを押すと、トリミング範囲を移動できます。

トリミングする範囲を拡大 / 縮小する
ボタンを押すと、トリミング範囲を拡大 / 縮小できます。



4 トリミング範囲を決定する

［OK］ボタンを押します。
トリミング範囲が設定され、元の写真が表示されます。



トリミングが設定されている写真にはトリミング範囲が表示されます。

参考

- トリミング範囲を設定後、再度［トリミング］ボタンを押すと、前回トリミングした範囲を変更できます。
- トリミングの設定を解除するには、［トリミング］ボタンを押し、トリミング編集画面で［キャンセル］ボタンを押してください。またメモリーカードを取り出すことでも、トリミングの設定を解除することができます。

1 枚の用紙に複数の写真を貼り込んで印刷する ー レイアウト印刷

指定したレイアウトに、好きな写真を貼り付けて印刷できます。

参考

巻頭の「レイアウトを選んで印刷してみよう」にレイアウトの一覧を掲載しています。レイアウトを指定するときは、そちらもあわせてご覧ください。

1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

❸ 給紙箇所を確認します。➔ P.20

❹ メモリーカードをカードスロットにセットします。➔ P.10

2 メニューから印刷モードを選択する

❶ ［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ ボタンを押して「フォトアトリエ」を選び、［OK］ボタンを押します。
フォトアトリエ項目が表示されます。

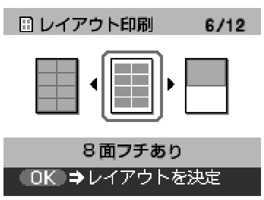


❸ ◀ ▶ ボタンを押して「レイアウト印刷」を選び、［OK］ボタンを押します。
レイアウト選択画面が表示されます。

3 レイアウトを指定する

❶ ◀ ▶ ボタンを押してレイアウトを指定します。

［8 面フチあり］を選んだ場合を例として説明します。



以下のレイアウトが選べます。

フチあり：2/4/8 面、絵はがき、絵はがき（罫線）
フチなし：2/4/8 面、絵はがき、絵はがき（罫線）
アルバム：アルバム 4 面（右)、アルバム 4 面（左）
ミックス：ミックス 1、ミックス 2、ミックス 3

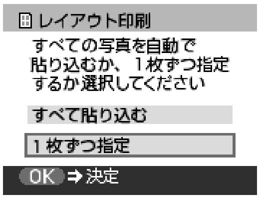
参考

［ミックス 1］、［ミックス 2］、［ミックス 3］は［用紙サイズ］が［A4］に設定されているときのみ選べます。

❷ ［OK］ボタンを押します。
貼り込み確認画面が表示されます。

4 貼り込み方法を指定する

▲ ▼ボタンを押して貼り込み方法を指定します。



- ［すべて貼り込む］を選んで［OK］ボタンを押すと、メモリーカードに保存されている写真が指定したレイアウトで貼り込まれます。操作 6 へ進んでください。
- ［1 枚ずつ指定］を選んで［OK］ボタンを押すと、写真選択画面が表示されます。操作 5 へ進んでください。

5 印刷したい写真を選ぶ

❶ ◀ ▶ ボタンを押して印刷したい写真を指定します。



参考

- 液晶モニターに表示されている写真を ⊕ ⊖ ボタンを押して拡大 / 縮小して表示することができます。「写真を拡大して表示するには」（➔ P.21 ）を参照してください。
- メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、撮影日で範囲を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。「印刷する写真を日付で絞り込む ― サーチ」（➔ P.27 ）を参照してください。
- 印刷する写真を日付で絞り込む前に、すでにレイアウトに貼り込んだ写真がある場合、その写真が指定した日付の範囲以外の写真であっても印刷されます。
- トリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチなし / フチありを指定後、トリミング編集してください。「印刷する範囲を指定する ― トリミング」（➔ P.29 ）を参照してください。

❷ ［OK］ボタンを押します。
指定した写真を 1 枚ずつ取り消す場合は、［戻る］ボタンを押してください。
指定した写真をすべて取り消す場合は、［キャンセル］ボタンを押してください。

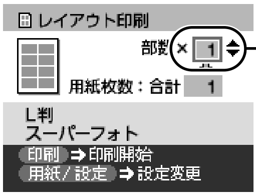
❸ ❶と❷の操作を繰り返し、レイアウト枠に写真を指定します。

❹ ［印刷］ボタンを押します。
印刷確認画面が表示されます。

6 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します。➔ P.24

設定内容を変更するときは、［用紙 / 設定］ボタンを押してください。



❷ ▲▼ボタンを押して印刷部数を指定します。

❸ ［印刷］ボタンを押します。
印刷が始まります。

シール紙に印刷する ー シール紙印刷

お気に入りの写真にフレームを付けて、キヤノン専用のシール紙に印刷できます。

参考

巻頭の「レイアウトを選んで印刷してみよう」にレイアウトの一覧を掲載しています。シール紙に合わせてレイアウトを選ぶときは、そちらもあわせてご覧ください。

1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ シール紙をオートシートフィーダにセットします。➔ P.12
専用のシール紙をお使いください。➔ P.19

重要

シール紙はカセットから印刷できません。

❸ 給紙箇所がオートシートフィーダになっていることを確認します。➔ P.20

❹ メモリーカードをカードスロットにセットします。➔ P.10

2 印刷メニューを選ぶ

❶［メニュー］ボタンを押します。



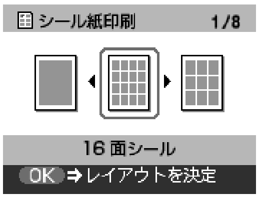
❷ ◀ ▶ ボタンを押して「フォトアトリエ」を選び、［OK］ボタンを押します。
フォトアトリエ項目が表示されます。



❸ ◀ ▶ ボタンを押して「シール紙印刷」を選び、［OK］ボタンを押します。
レイアウト選択画面が表示されます。

3 印刷したいシール紙に合わせてレイアウトを選ぶ

❶ ◀ ▶ ボタンを押してレイアウトを選びます。



専用のシール紙をお使いください。
各シール紙に対応したレイアウトは以下の通りです。

ピクサスプチシール PS-101：［16 面シール］
フォトシールセット PSHRS ：［2 面シール］、［4 面シール］、［9 面シール］、［16 面シール］

❷［OK］ボタンを押します。
写真選択画面が表示されます。

4 印刷したい写真を選ぶ

❶ ◀ ▶ ボタンを押して印刷する写真を表示します。

参考

- 液晶モニターに表示されている写真を ⊕ ⊖ ボタンを押して拡大 / 縮小して表示することができます。「写真を拡大して表示するには」（➔ P.21 ）を参照してください。
- メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、撮影日で範囲を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。「印刷する写真を日付で絞り込む ― サーチ」（➔ P.27 ）を参照してください。
- トリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチなし / フチありを指定後、トリミング編集してください。「印刷する範囲を指定する ― トリミング」（➔ P.29 ）を参照してください。

❷［OK］ボタンを押します。
フレーム選択画面が表示されます。

5 フレームを選ぶ

❶ ◀ ▶ ボタンを押して、フレームを選びます。



参考

- ◀ ▶ を押してフレームを選ばないと、フレームのない写真が印刷されます。フレームなしで印刷する場合は、そのまま［OK］ボタンを押してください。
- 写真が逆さまのときは、▲ ▼ボタンを押して写真を 180 度回転させると、フレームの上下に合わせて印刷できます。



- フレームに合わせて写真を 90 度回転させたい場合は、トリミング編集でトリミング範囲を回転して、トリミングの設定をしてください。「印刷する範囲を指定する ー トリミング」（➔ P.29 ）を参照してください。

❷［OK］ボタンを押します。

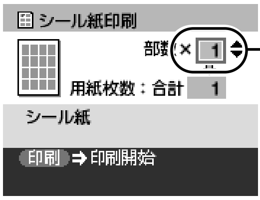
印刷確認画面が表示されます。

6 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します。➔ P.24

重要

シール紙印刷では用紙サイズ、用紙種類などの設定を変更することはできません。



❷ ▲ ▼ ボタンを押して印刷部数を指定します。

参考

シール紙は 1 枚ずつオートシートフィーダにセットしてください。カセットからは印刷できません。

❸［印刷］ボタンを押します。
印刷が始まります。

好みの色合いで印刷する ー 色合い調整印刷

印刷したい写真のサンプルを一枚の用紙に 9 パターンの色合いで印刷します。そのなかからお好みの色合いを選んで印刷できます。

1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

❸ 給紙箇所を確認します。➔ P.20

❹ メモリーカードをカードスロットにセットします。➔ P.10

2 印刷メニューを選ぶ

❶ ［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ ボタンを押して「フォトアトリエ」を選び、［OK］ボタンを押します。
フォトアトリエ項目が表示されます。



❸ ◀ ▶ ボタンを押して「色合い調整印刷」を選び、［OK］ボタンを押します。
写真選択画面が表示されます。

3 印刷したい写真を選ぶ

❶ ◀ ▶ ボタンを押して印刷する写真を選びます。

参考

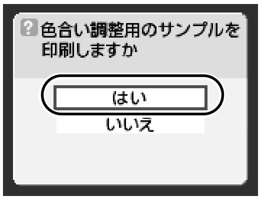
- 液晶モニターに表示されている写真を⊕ ⊖ ボタンを押して拡大 / 縮小して表示することができます。「写真を拡大して表示するには」（➔ P.21 ）を参照してください。
- メモリーカードに保存されている写真の数が多いときは、撮影日で範囲を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけを表示したり、印刷することができます。「印刷する写真を日付で絞り込む ー サーチ」（➔ P.27 ）を参照してください。
- トリミング編集で印刷する範囲を指定することができます。用紙サイズや用紙の種類、フチなし / フチありを指定後、トリミング編集してください。「印刷する範囲を指定する ー トリミング」（➔ P.29 ）を参照してください。

❷ ［OK］ボタンを押します。
サンプル印刷画面が表示されます。

4 サンプルを印刷する

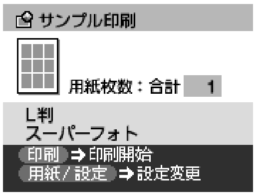
同じ写真で色合い調整印刷をするとき、異なる色合いを選んで印刷するときなど、すでにサンプルを印刷している場合は［いいえ］を選んで操作５へ進んでください。

❶ ▲▼ボタンを押して［はい］を選びます。



❷［OK］ボタンを押します。
印刷確認画面が表示されます。

❸ 設定を確認します。



設定内容を変更するときは、［用紙 / 設定］ボタンを押してください。

❹ サンプル印刷を開始します。
［印刷］ボタンを押します。
サンプル印刷が始まります。

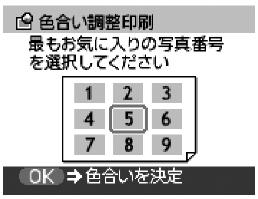
5 色合いを選ぶ

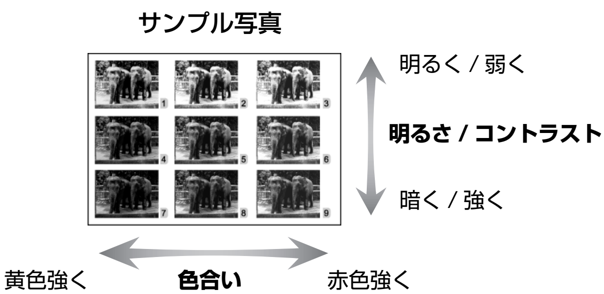
サンプル印刷終了後、液晶モニターに色合い選択画面が表示されます。
サンプルの写真を見て、好みの色合い番号を選びます。

参考

用紙によっては、色が落ちつくまでに数分かかることがあります。好みの色合いがないときは、サンプル写真の色が落ちついてから、好みの色合い番号を選んでみてください。

❶ ▲▼◀▶ボタンを押して、好みの色合い番号を選びます。



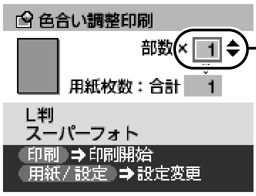


❷［OK］ボタンを押します。
印刷確認画面が表示されます。

6 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します。

設定内容を確認 / 変更するときは、［用紙 / 設定］ボタンを押してください。➔ P.24



❷ ▲▼ボタンを押して印刷部数を指定します。

❸［印刷］ボタンを押します。
印刷が始まります。

すべての写真を印刷する ― すべての写真を印刷

メモリーカードに保存されている写真をすべて印刷します。

参考

サーチモードで撮影日を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけ印刷することができます。➔「印刷する写真を日付で絞り込む ― サーチ」(P.27)

1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源ボタンを押して、電源を入れます。

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

❸ 給紙箇所を確認します。➔ P.20

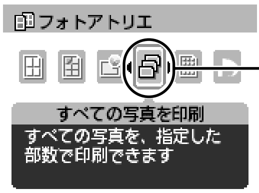
❹ メモリーカードをカードスロットにセットします。➔ P.10

2 印刷メニューを選ぶ

❶ ［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀▶ボタンを押して「フォトアトリエ」を選び、［OK］ボタンを押します。
フォトアトリエ項目が表示されます。

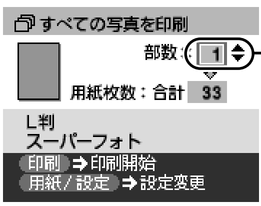


❸ ◀▶ボタンを押して「すべての写真を印刷」を選び、［OK］ボタンを押します。
印刷確認画面が表示されます。

3 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します。

設定内容を変更するときは、［用紙 / 設定］ボタンを押してください。➔ P.24



❷ ▲▼ボタンを押して、印刷する部数を指定します。

❸ ［印刷］ボタンを押します。
メモリーカードに保存されているすべての写真が印刷されます。

写真の一覧を印刷する ー インデックス印刷

メモリーカードに保存されているすべての写真の一覧が印刷されます。

参考

サーチモードで撮影日を指定することで、指定した日付の範囲の写真だけを一覧にして印刷することができます。
➔「印刷する写真を日付で絞り込む ー サーチ」（P.27）

1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源を押して電源を入れます。

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

❸ 給紙箇所を確認します。➔ P.20

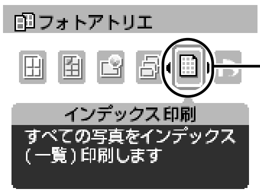
❹ メモリーカードをカードスロットにセットします。➔ P.10

2 印刷メニューを選ぶ

❶［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ ボタンを押して「フォトアトリエ」を選び、［OK］ボタンを押します。
フォトアトリエ項目が表示されます。

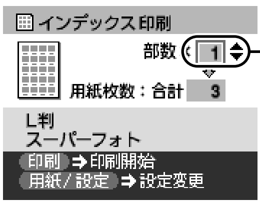


❸ ◀ ▶ ボタンを押して「インデックス印刷」を選び、［OK］ボタンを押します。
印刷確認画面が表示されます。

3 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します。

設定内容を変更するときは、［用紙 / 設定］ボタンを押してください。➔ P.24



❷ ▲▼ボタンを押して、印刷する部数を指定します。

❸［印刷］ボタンを押します。
メモリーカードに保存されているすべての写真が一覧で印刷されます。

カメラの設定にしたがって印刷する ー DPOF 印刷

デジタルカメラで DPOF（Digital Print Order Format）の設定を行った場合、設定した内容にしたがった印刷が自動で行えます。

参考

- 本プリンタでは、以下の DPOF 機能に対応しています。
  - 対応画像形式　：CIFF、Exif（JPEG）、JFIF、Exif（Tiff）
  - プリントスタイルースタンダードプリント
    ：DPOF でスタンダードプリントを指定した写真を印刷
  - プリントスタイルーインデックスプリント
    ：DPOF でインデックスプリントを指定した写真を、本機のインデックス印刷のレイアウトに合わせて印刷
  - 印刷写真の指定　：DPOF で指定した写真のみ印刷（操作パネルから指定できません）
  - 印刷枚数の指定　：DPOF で指定した枚数を印刷（操作パネルから指定できません）
  - 上記以外の機能（写真のコメントやタイトル、トリミング、写真回転など）には対応していません。
- 印刷は用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。用紙サイズにより、写真の上下左右がカットされて印刷される場合があります。
- 撮影日の日付並び順は、DPOF の設定にしたがって印刷されます。

1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

❸ 給紙箇所を確認します。➔ P.20

❹ DPOF 情報が保存されているメモリーカードをカードスロットにセットします。
➔ P.10

2 印刷メニューを選ぶ

❶［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ ボタンを押して「フォトアトリエ」を選び、［OK］ボタンを押します。
フォトアトリエ項目が表示されます。



❸ ◀ ▶ ボタンを押して「DPOF 印刷」を選び、［OK］ボタンを押します。
印刷確認画面が表示されます。

3 印刷を開始する

❶ 印刷設定を確認します

設定内容を変更するときは、［用紙 / 設定］ボタンを押してください。➔ P.24



❷ ［印刷］ボタンを押します。
メモリーカードに保存されている DPOF の設定情報にしたがって、写真が印刷されます。

各種設定を変更する

ここでは、ツールボックスで設定できる以下の機能について説明します。

- 液晶モニターのコントラストを調整する ➔ P.43
- 印刷するときの動作音をおさえる ➔ P.44
- 印刷される日付の並び順を変更する ➔ P.45
- 設定をリセットする ➔ P.46
- 表示する言語を変更する ➔ P.47

液晶モニターのコントラストを調整する

液晶モニターのコントラストが濃すぎたり、薄すぎる場合には、コントラストで調整します。

1 プリンタの電源を入れる

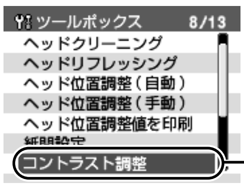
2 メニューから［ツールボックス］を選ぶ

❶［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の一覧が表示されます。

3 コントラストを調整する



❶ ▲▼ボタンを押して［コントラスト調整］を選び、［OK］ボタンを押します。
コントラスト調整画面が表示されます。



❷ ◀ ボタンを押すと濃くなります。
▶ ボタンを押すと薄くなります。

❸ 任意のコントラストを選び、［OK］ボタンを押します。
選択したコントラストで液晶モニターが表示されます。

印刷するときの動作音をおさえる

夜間など、印刷するときの動作音が気になるときは、印刷時の動作音をおさえることができます。

重要

- サイレント機能を［しない］にしたときに比べ、印刷速度が低下する場合があります。
- 印刷品位の設定によっては、効果が少ない場合があります。
  また、準備動作時の音などは、通常の音と変わりません。

1 プリンタの電源を入れる

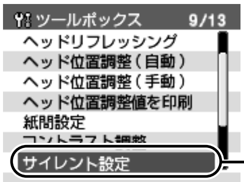
2 メニューから［ツールボックス］を選ぶ

❶ ［メニュー］ボタンを押します。

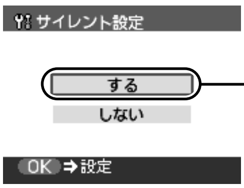


❷ ◀ ▶ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の一覧が表示されます。

3 サイレント機能を設定する



❶ ▲▼ボタンを押して［サイレント設定］を選び、［OK］ボタンを押します。
サイレントモード設定画面が表示されます。



❷ ▲▼ボタンを押して［する］を選び、［OK］ボタンを押します。
サイレント機能が有効になります。

印刷される日付の並び順を変更する

印刷される撮影日の日付の並び順を変更できます。

参考

DPOF 印刷するとき、撮影日の日付の並び順は DPOF の設定にしたがって印刷されます。

1 プリンタの電源を入れる

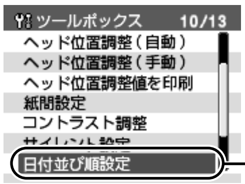
2 メニューから［ツールボックス］を選ぶ

❶［メニュー］ボタンを押します。

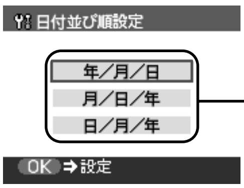


❷ ◀▶ ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の一覧が表示されます。

3 印刷される日付並び順を選ぶ



❶ ▲▼ボタンを押して［日付並び順設定］を選び、［OK］ボタンを押します。



❷ ▲▼ボタンを押して日付並び順を選び、［OK］ボタンを押します。
印刷設定の基本タブで［日付あり］を指定しているときは、選択した日付並び順で撮影日が印字されます。印刷設定については、「印刷設定を変更する」（➔ P.24 ）を参照してください。

設定をリセットする

表示する言語、プリントヘッドの位置以外の設定を、ご購入時の設定に戻すことができます。

1 プリンタの電源を入れる

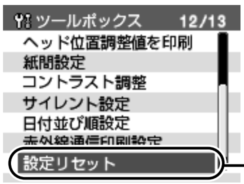
2 メニューから［ツールボックス］を選ぶ

❶［メニュー］ボタンを押します。

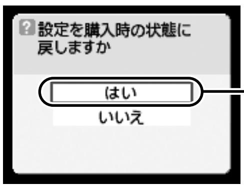


❷ ◀ ▶ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の一覧が表示されます。

3 設定をリセットする



❶ ▲▼ボタンを押して［設定リセット］を選び、［OK］ボタンを押します。



❷ ▲▼ボタンを押して［はい］を選び、［OK］ボタンを押します。

表示する言語を変更する

液晶モニターに表示する言語を変更できます。

1　プリンタの電源を入れる

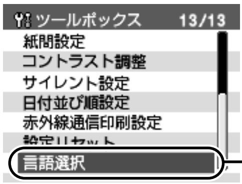
2　メニューから［ツールボックス］を選ぶ

❶［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀▶ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目一覧が表示されます。

3　表示する言語を選ぶ



❶ ▲▼ボタンを押して［言語選択］を選び、［OK］ボタンを押します。
言語選択画面が表示されます。



❷ ▲▼◀▶ボタンを押して言語を選び、［OK］ボタンを押します。
選択した言語で、メニューや選択項目、メッセージが表示されます。

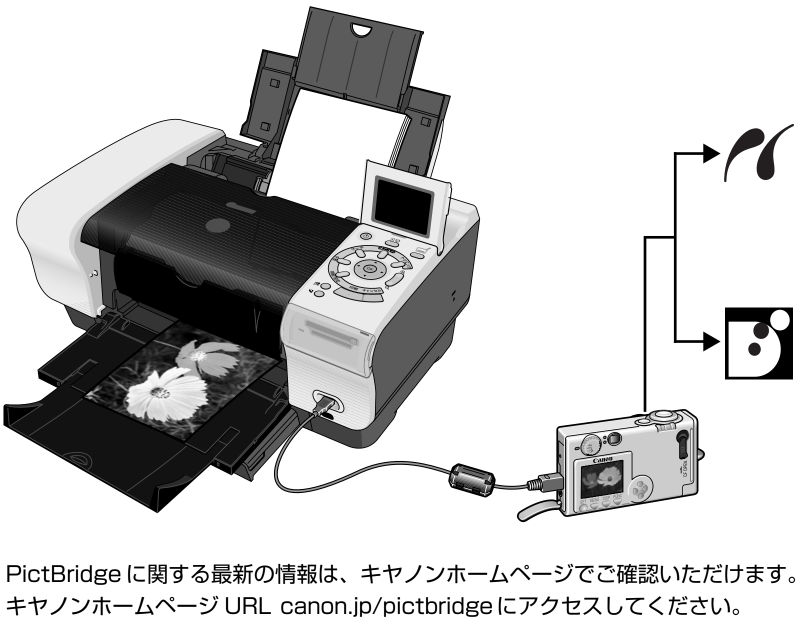
デジタルカメラと直接つないで印刷してみよう

プリンタにデジタルカメラやデジタルビデオカメラを接続することで、デジタルカメラやデジタルビデオカメラからの操作で写真を直接印刷することができます。
本プリンタと接続して写真を直接印刷できるのは“PictBridge”対応、またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラです。

参考

本プリンタに接続できるカメラについて

- PictBridgeとは、デジタルカメラで撮影した写真をコンピュータを介さずにダイレクトプリントしたり、多様なデジタルフォトソリューションを提供するために策定した標準規格です。いままで、各社独自の方法で製品化を進めていたため、接続可能なプリンタとデジタルカメラの組み合わせには制限がありましたが、今後はPictBridgeを採用したデジタルカメラとプリンタがあれば、メーカーや機種を問わず、カメラ側からの簡単な操作で美しい写真を直接出力することができます。
- キヤノン“Bubble Jet Direct”に対応（“PictBridge”非対応）したデジタルカメラやデジタルビデオカメラを本プリンタに接続することで、デジタルカメラやデジタルビデオカメラの操作で、写真を各種のキヤノン専用紙に印刷することができます。➔ P.52
  ＊以降、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラを総称して、デジタルカメラまたはカメラとします。



“PictBridge”対応カメラから印刷 **➔ P.50**

このマークが表記されているカメラは“PictBridge”に対応しております。

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応カメラから印刷 **➔ P.52**

対応機種については『基本操作ガイド』の「仕様」を参照してください。

＊ PictBridgeに関する最新の情報は、キヤノンホームページでご確認いただけます。
キヤノンホームページURL canon.jp/pictbridgeにアクセスしてください。

デジタルカメラを接続する

本プリンタに対応のデジタルカメラを接続するときは、カメラに付属の USB ケーブル（コンピュータ接続用）を使用します。

⚠ 警告

プリンタのカメラ接続部には、“PictBridge”対応、またはキヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラ以外は、接続しないでください。火災や感電、プリンタの損傷の原因となる場合があります。

参考

- デジタルカメラを接続して印刷する場合、デジタルカメラの電源は、家庭用電源をお使いになることをお勧めします。バッテリーをお使いになるときは、フル充電されたバッテリーをお使いください。
- “PictBridge”対応のカメラから印刷する場合、ご使用のカメラの機種により、接続する前に“PictBridge”で印刷するモードに切り替える必要があります。また接続後、手動で電源を入れたり、再生モードにする必要があります。ご使用のカメラに付属の使用説明書を参照のうえ、接続前に必要な操作を行ってください。
- コンピュータから印刷するときは、必ずデジタルカメラと接続しているケーブルを抜いてください。

1 プリンタの準備をする

プリンタに付属の『かんたんスタートガイド』の操作にしたがって、プリンタを印刷できるように準備してください。

参考

デジタルカメラの操作でプリントヘッドの位置を調整することはできません。プリントヘッドの位置調整をしていない場合は、「プリントヘッド位置を調整する － 自動調整」（➔ P.73 ）を参照し、プリントヘッドの位置を調整してください。

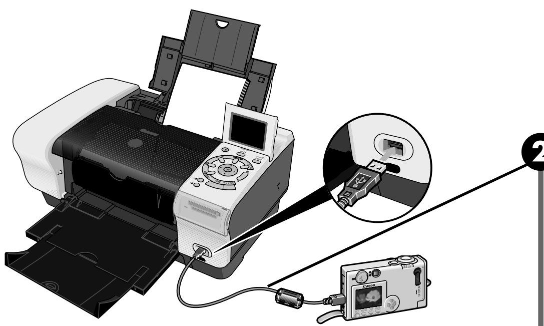
2 プリンタの電源ボタンを押して、電源を入れる

3 用紙をセットする ➔ P.12

4 給紙箇所を確認する ➔ P.20

5 プリンタとデジタルカメラを接続する

❶ デジタルカメラの電源が切れていることを確認します。



❷ **デジタルカメラに付属の USB ケーブル（コンピュータ接続用）で、デジタルカメラとプリンタを接続します。**

自動的にデジタルカメラの電源が入る機種もあります。電源が入らない場合は手動で電源を入れてください。

❸ デジタルカメラから印刷できる状態にします。
カメラとプリンタの接続が確認されると、デジタルカメラの液晶モニターに以下のマークが表示されます。

：“PictBridge”対応のカメラです。➔ P.50

：キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラです。➔ P.52

参考

マークが表示されない場合は、「デジタルカメラからうまく印刷できない」（➔ P.83）を参照してください。

“PictBridge”対応カメラから印刷する

操作については、必ずご使用のカメラに付属の使用説明書にしたがってください。ここでは、本プリンタを使用したときに“PictBridge”対応のデジタルカメラで設定できるペーパーサイズやペーパータイプ、レイアウト、イメージオプティマイズ、日付印刷について説明します。

■ カメラの設定を確認 / 変更するには

使用するペーパーサイズやペーパータイプなどを変更するときは、カメラ側の操作で“PictBridge”の印刷設定を開始し、設定内容を確認 / 変更してください。

下記の設定項目は、カメラを接続しているときにプリンタ側の［用紙 / 設定］ボタンを押して変更することができます。ただし、［用紙 / 設定］画面で変更できるのは、カメラ側で下記の項目を「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）にした場合のみです。

カメラ側の項目	**プリンタ側の［用紙 / 設定］画面**
ペーパーサイズ：標準設定	［設定 1：基本］タブ ❶❷❸ で変更可能 各設定タブの設定項目 ➔ P.26
ペーパータイプ：標準設定	
レイアウト：標準設定	
イメージオプティマイズ（画像補正）：標準設定	［設定 2：補正］、［設定 3：色調整］、［設定 4：加工］の各タブで変更可能 各設定タブの設定項目 ➔ P.26

説明している項目について

ご使用のカメラにより、説明している項目が設定できない場合があります。設定できない項目については、説明中に「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）で明記してある設定にしたがって印刷されます。

※ 説明に使用している名称は、キヤノン製“PictBridge”対応のデジタルカメラを使用したときに表示される名称を例に説明しています。ご使用のカメラにより設定項目の名称は異なる場合があります。

■「ペーパーサイズ」/「ペーパータイプ」について

「標準設定」(プリンタの設定にしたがう選択項目)を選んだときにはプリンタ側で設定している「用紙サイズ」「用紙種類」で印刷されます。

※ プロフェッショナルフォトペーパーに印刷するときは、カメラ側で「ペーパータイプ」を「高級フォト」に、スーパーフォトペーパーに印刷するときは「フォト」に設定してください。

「ペーパーサイズ」と「ペーパータイプ」の設定で、プリンタにセットできるのは以下の用紙です。

「ペーパーサイズ」の設定	「ペーパータイプ」の設定	プリンタにセットする用紙
L 判	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L
	フォト	スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101L
	フォト	エコノミーフォトペーパー EC-101L
2L 判	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 2L
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
はがき	高級フォト	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
	フォト	フォト光沢ハガキ KH-201N
	フォト	ピクサスプチシール PS-101
	フォト	フォトシールセット PSHRS
カード	フォト	エコノミーフォトペーパー EC-101 カード
8.9 × 25.4cm *	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 パノラマ
A4	フォト	スーパーフォトペーパー SP-101 A4
	高級フォト	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 A4
	フォト	スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 A4
	フォト	キヤノン光沢紙 GP-401 A4

* パノラマサイズです。キヤノン製“PictBridge”対応のカメラのみ設定できます(機種によっては設定できない場合があります)。

■「レイアウト」について

「標準設定」(プリンタの設定にしたがう選択項目)を選んだときに、プリンタ側の[フチなし / フチあり]の設定にしたがって印刷されます。

ピクサスプチシール PS-101(16 面)、フォトシールセット PSHRS(2 面、4 面、9 面、16 面)に印刷するときは、カメラ側で以下のように設定してください。

シール紙は、必ずオートシートフィーダにセットしてください。

①「ペーパーサイズ:はがき」「ペーパータイプ:フォト」に設定する

②レイアウトで印刷するシール紙の面数に合わせて「2 面配置」「4 面配置」「9 面配置」「16 面配置」に設定する

※ レイアウトに「2 面配置」「4 面配置」「9 面配置」「16 面配置」(キヤノン製デジタルカメラでの表示)に該当する項目がない場合は、各シール紙への印刷はできません。

※ シール紙に印刷するときは、「レイアウト」で「フチなし」を設定しないでください。

■「イメージオプティマイズ」について

「標準設定」（プリンタの設定にしたがう選択項目）を選んだときにプリンタ側の［設定 2：補正］［設定 3：色調整］［設定 4：加工］の設定にしたがって印刷されます。各設定については、「各設定タブの設定項目」（➔ P.26 ）を参照してください。

また、キヤノン製“PictBridge”対応のカメラをご使用の場合は、「VIVID」「NR」「VIVID+NR」が設定できます（機種によっては設定できない場合があります）。

※「VIVID」は、緑や青色をより鮮やかに印刷します。
「NR」は、「ノイズリダクション」の略で、空などの青い部分や、暗い部分のノイズを除去します。
「VIVID+NR」は、「VIVID」と「NR」の両方を設定します。

■「日付印刷」について

カメラ側の設定にしたがって印刷されます。

参考

- 本プリンタで印刷できる画像データは、Exif/JPEG データです。
- 印刷中は接続ケーブルを絶対に抜かないでください。
  また、デジタルカメラとプリンタのケーブルを取り外すときは、カメラに付属の使用説明書にしたがってください。
- デジタルカメラの操作で、以下の機能は使用できません。
  - ・印刷品質の設定
  - ・メンテナンス機能

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応カメラから印刷する

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応デジタルカメラ（PictBridge 非対応機種）から印刷できる用紙、印刷のしかたについて説明します。

参考

キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のデジタルカメラやデジタルビデオカメラの機種については、『基本操作ガイド』の仕様一覧「キヤノン“Bubble Jet Direct”プリント」を参照してください。

■ダイレクト印刷に使用できる用紙について

使用できる用紙は、キヤノン製の以下の専用紙です。

デジタルカメラの用紙（ペーパー）設定	プリンタにセットする用紙
L 判	スーパーフォトペーパー SP-101 L
	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 L
	スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101L
	エコノミーフォトペーパー EC-101L
2L 判	スーパーフォトペーパー SP-101 2L
	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 2L
はがきサイズ	プロフェッショナルフォトはがき PH-101
A4 サイズ	スーパーフォトペーパー SP-101 A4
	プロフェッショナルフォトペーパー PR-101 A4
	スーパーフォトペーパー・シルキー SG-101 A4
	キヤノン光沢紙 GP-401 A4
カードサイズ	エコノミーフォトペーパー EC-101 カード

■ デジタルカメラから印刷を開始する

プリンタとカメラを接続後、印刷を開始するときには、以下の操作にしたがってください。

＊ デジタルカメラの操作については、デジタルカメラに付属の使用説明書を参照してください。印刷時のエラー表示と対処方法については「デジタルカメラからうまく印刷できない」（➔ P.83 ）を参照してください。

＊ デジタルビデオカメラの操作、印刷時のエラー表示と対処方法については、デジタルビデオカメラに付属の使用説明書を参照してください。

1. デジタルカメラの再生モードで、印刷したい写真を表示します。
   再生モードに切り替わらないときは、デジタルカメラに付属の使用説明書にしたがって再生モードに切り替えてください。
   正しく接続されると、カメラの液晶モニターにが表示されます。
2. デジタルカメラの［SET］ボタンを押すと、デジタルカメラの液晶モニターに［プリント設定］画面が表示されます。
3. ［スタイル］を選び、用紙サイズ（ペーパー）、フチのあり / なし、日付印刷のオン / オフなどを指定します。
4. スタイルを設定後、印刷枚数を指定して［プリント］を選び、デジタルカメラの［SET］ボタンを押します。

参考

- デジタルカメラの操作で、以下の印刷ができます。
  - ・シングル再生またはインデックス再生中の画像をスタンダードプリントできます。
  - ・DPOF のプリント設定で、写真に設定した枚数を印刷したり、インデックスプリントすることができます。
    ＊ JPEG の Exif 画像以外は、インデックスプリントできない場合があります。
  - ・Exif 2.2 対応デジタルカメラで撮影した写真は、オートフォトパーフェクト機能で自動的に補正します。
  - ・デジタルカメラで日付指定を有効にしている写真（インデックスプリントを除く）は、日付付きで印刷されます。
  - ・デジタルカメラで撮影した写真は、用紙サイズに合わせて自動的に拡大 / 縮小して印刷します。
- デジタルカメラの操作で、以下の機能は使用できません。
  - ・印刷品質の設定
  - ・メンテナンス機能
- デジタルカメラとプリンタのケーブルを取り外すときは、以下の操作にしたがってください。
  ①プリンタ側のケーブルを取り外す
  ②デジタルカメラの電源を切る
  ③デジタルカメラ側のケーブルを取り外す
  ケーブルを取り外すときは、必ずコネクタの側面を持って取り外してください。

携帯電話から赤外線通信で印刷する － プリントビーム

本プリンタは、携帯電話から赤外線通信を利用してワイヤレスで手軽に印刷できる「プリントビーム機能」に対応しています。「プリントビーム機能」を使うと、カメラ付き携帯電話で撮影した写真を、指定した用紙やレイアウトで印刷することができます。

赤外線通信を行うための条件

携帯電話からプリントビーム機能で正しく印刷を行うためには、以下の条件を満たしている必要があります。

- 対応機種：IrDA1.2 ポートを搭載し、IrMC バージョン 1.1 規格に準拠した携帯電話
  動作確認済みの携帯電話については、キヤノンピクサスホームページ
  canon.jp/pixus でご確認ください。
- 印刷可能なデータ：画像（JPEG のみ対応）

参考

IrDA（Infrared Data Association）は、赤外線を使用してデータを送受信するための規格および制定する団体名称です。IrDA 規格は、業界標準となっており、IrDA がそのままインタフェースの呼称としても使われています。

印刷する用紙やレイアウトを設定する － 赤外線通信印刷設定

携帯電話の写真を印刷するときの、用紙の種類や用紙サイズ、レイアウト（シール紙レイアウト、フチなし設定など）を設定できます。

＊ お買い上げ時から何も設定を変更していない場合は、スーパーフォトペーパー SP-101L に、フチなしで印刷する設定になっています。

■［赤外線通信印刷設定］画面の表示と設定の操作について

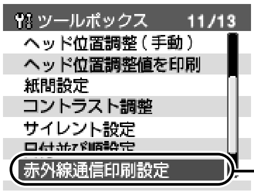
1 プリンタの準備をする

プリンタの電源ボタンを押して電源を入れます。

2 ［赤外線通信印刷設定］画面を表示する

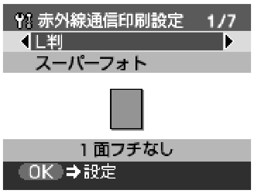


❶ ◀ ▶ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の一覧が表示されます。



❷ ▲▼ボタンを押して［赤外線通信印刷設定］を選び、［OK］ボタンを押します。
赤外線通信印刷設定画面が表示されます。

3 設定を確認 / 変更する

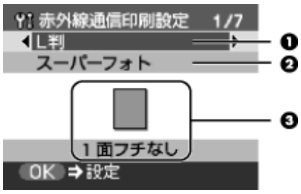


❶ ▲▼ボタンを押して設定する項目にカーソルを合わせます。

❷ ◀ ▶ボタンを押して選択項目を表示します。

❸ 必要な項目を設定後、［OK］ボタンを押します。
設定した内容で、携帯電話の写真を印刷できます。

■ 各設定項目について



❶ 携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズを設定できます。

❷ 携帯電話の写真を印刷するときの用紙の種類を設定できます。

参考

携帯電話の写真を印刷するときの用紙サイズと用紙の種類については「キヤノン製専用紙」（➔ P.19 ）を参照してください。

❸ 携帯電話の写真を印刷するとき、用紙に合わせてレイアウトを設定できます。

- シール紙に印刷
  16 面シール、9 面シール、4 面シール、2 面シール、
  フリーカットシール 1、フリーカットシール 2、
  フリーカットシール 3、フリーカットシール 4
- シール紙以外に印刷
  フチあり：1/2/4/8 面
  フチなし：1/2/4/8 面
  ミックス：ミックス 1、ミックス 2、ミックス 3

参考

[ミックス 1]、[ミックス 2]、[ミックス 3] は用紙サイズが [A4] に設定されているときのみ選べます。

参考

シール紙に印刷するには

キヤノン専用のシール紙で印刷するときは、以下のように設定してください。

用紙の名称	用紙サイズ	用紙の種類	レイアウト
ピクサスプチシール PS-101	シール紙	スーパーフォト	16 面シール
フォトシールセット PSHRS	シール紙	スーパーフォト	印刷するシールに合わせて 2 面シール /4 面シール /9 面シール /16 面シール

赤外線通信で印刷する

携帯電話の写真を赤外線通信で印刷できます。
赤外線通信で印刷を行う場合は、ご使用の携帯電話の使用説明書も併せてご覧ください。

1 印刷の準備をする

❶ プリンタの電源ボタンを押して電源を入れます。

❷ 用紙をセットします。➔ P.12

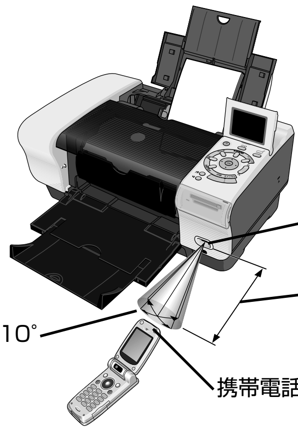
❸ 給紙箇所を確認します。➔ P.20

2 赤外線通信を開始する

❶ 携帯電話の赤外線ポートを、プリンタの赤外線ポートと 20cm 以内の距離で正面に向き合うように置きます。

参考

プリンタの赤外線ポートの有効角度は、左右、上下共に中心軸に対して約 10 度です。ただし、通信相手となる携帯電話によっては、プリンタとの通信可能な距離が異なります。携帯電話に付属の使用説明書で確認してください。



❷ 印刷したい写真を選択し、携帯電話の赤外線ファイル転送機能で、データをプリンタに送信します。

プリンタがデータを正常に受信すると、電源ランプが緑色に点滅します。

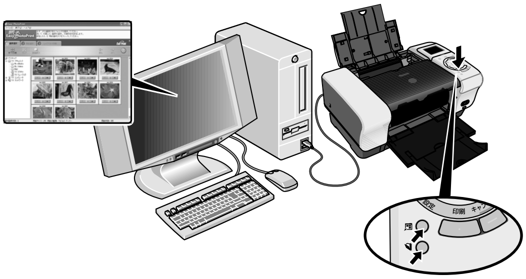
データの送信が終了すると、印刷が開始されます。



参考

- 携帯電話から印刷する操作については、携帯電話に付属の使用説明書を参照してください。
- プリンタの赤外線ポートと携帯電話の赤外線ポートの間に物などを置いて遮断しないでください。送受信ができなくなります。
- データを受信中は、プリンタと赤外線通信の接続を切らないように注意してください。もし切れてしまった場合は、プリンタの電源をオフにし、携帯電話の印刷を中止してください。
- 送信できるデータには、以下の制限事項があります。
  - ・携帯電話のセキュリティ設定のため、ダウンロードしたコンテンツや、メールに添付された URL からダウンロードした写真等は印刷できません。
  - ・動画は印刷できません。
  - ・ご使用の機種により、赤外線による転送容量に制限があるため、最高画質での印刷ができないことがあります。
  - ・画像の大きさによって送信を開始してから印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。
  - ・ご使用の機種により、メモリーカードに保存したデータは印刷できないことがあります。
  - ・印刷される画像の品位と印刷される向き（縦または横）は、撮影した画像サイズによって自動的に設定されます。
  - ・携帯電話で撮影した画像のサイズによっては、フチなしで印刷すると画像が切れたり、フチありで印刷すると余白の大きさが変わることがあります。
- 印刷して画像が粗くなるときは、名刺サイズやカードサイズ、シール紙などの小さいサイズの用紙で印刷することをお勧めします。

メモリーカードのデータをコンピュータで使用する



写真をコンピュータで見る

コンピュータとプリンタを接続してお使いの場合、［Easy-PhotoPrint 起動］ボタンでメモリーカードに保存されている写真を「Easy-PhotoPrint」に表示し、印刷することができます。

重要

［Easy-PhotoPrint 起動］ボタンを使用するためには、プリンタとコンピュータが接続され、コンピュータにプリンタドライバとメモリーカードユーティリティ、「Easy-PhotoPrint」がインストールされている必要があります。インストール方法は『かんたんスタートガイド』を参照してください。

参考

メモリーカードに保存されている写真を日付で絞り込んでいるとき、［Easy-PhotoPrint 起動］ボタンを押すと、指定した日付の範囲の写真だけを「Easy-PhotoPrint」に表示できます。
「印刷する写真を日付で絞り込む ― サーチ」（➔ P.27 ）

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていることを確認する

2 ［Easy-PhotoPrint 起動］ボタンを押す

コンピュータで「Easy-PhotoPrint」が起動します。

参考

「Easy-PhotoPrint」で印刷する操作については『基本操作ガイド』の「写真を印刷してみよう」を参照してください。「Easy-PhotoPrint」の詳細な設定方法や注意事項、その他の機能については『アプリケーションガイド』を参照してください。

写真をコンピュータに保存する

[保存] ボタンを使用すると、メモリーカードのデータをコンピュータのハードディスクに保存することができます。

重要

［保存］ボタンを使用するためには、プリンタとコンピュータが接続され、コンピュータにメモリーカードユーティリティがインストールされている必要があります。インストール方法は『かんたんスタートガイド』を参照してください。

参考

メモリーカードに保存されている写真を日付で絞り込んでいるとき、［保存］ボタンを押すと、指定した日付の範囲の写真だけをコンピュータに保存できます。「印刷する写真を日付で絞り込む ― サーチ」（➔ P.27 ）

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていることを確認する

2 ［保存］ボタンを押す

以下の保存先に、コンピュータに保存した日（YYYY_MM_DD）のフォルダを作成して写真を保存します。

Windows XP:	［マイピクチャ］フォルダ
Windows 2000/Windows Me:	［MyPictures］フォルダ
Windows 98:	［My Document］フォルダ
Mac OS X 10.2.1 ～ :	［ピクチャ］フォルダ
Mac OS 9.0 ～ 9.2:	デスクトップ

カードスロットをコンピュータのドライブに設定する

プリンタのカードスロットを、コンピュータのメモリーカード用ドライブとして、書き込みができるように設定することができます。

重要

- カードスロットをコンピュータ用メモリーカードドライブとして使用するためには、プリンタとコンピュータが接続され、コンピュータにメモリーカードユーティリティがインストールされている必要があります。『かんたんスタートガイド』の操作にしたがってインストールしてください。
- カードスロットを［読み取り / 書き込み可能モード］に設定した場合は、印刷やメンテナンスの操作ができなくなります。メモリーカード専用ドライブの操作を終了後、必ず同様の操作で［読み取り専用モード］に戻してください。

Windows

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていることを確認する

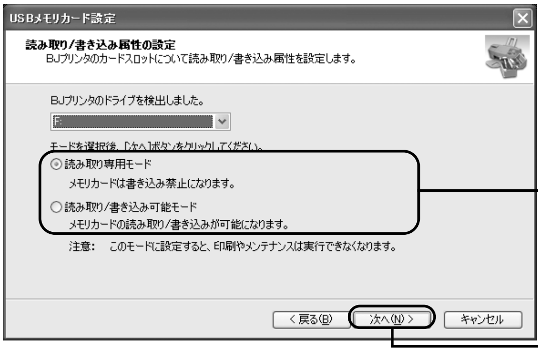
2 [USB メモリーカード設定] 画面を表示する

❶ メモリーカードがセットされていないことを確認します。
セットされている場合は、カードスロットから取り出してください。➔ P.11

❷ [スタート] メニューから [すべてのプログラム] (または [プログラム]) を選び、[Canon Utilities] → [PIXUS iP6100D MemoryCard Utility] → [USB メモリーカード設定] の順に選びます。[USB メモリーカード設定] 画面が表示されます。

3 読み取り / 書き込み属性を設定する

❶ [次へ] ボタンをクリックします。
[読み取り / 書き込み属性の設定] 画面が表示されます。



❷ **読み取り / 書き込み属性を設定します。**

[読み取り専用モード]
･･･カードスロットを読み取り専用として設定します。印刷するときは、必ずこのモードに設定してください。
[読み取り / 書き込み可能モード]
･･･カードスロットをメモリーカード専用ドライブとして設定し、メモリーカードへの書き込みが可能になります。

❸ **[次へ] ボタンをクリックします。**

[読み取り / 書き込み可能モード] に設定した場合は、注意事項を確認し [次へ] をクリックします。

❹ [完了] をクリックします。
読み取り / 書き込み属性が設定されます。

Macintosh

1 プリンタとコンピュータの電源が入っていることを確認する

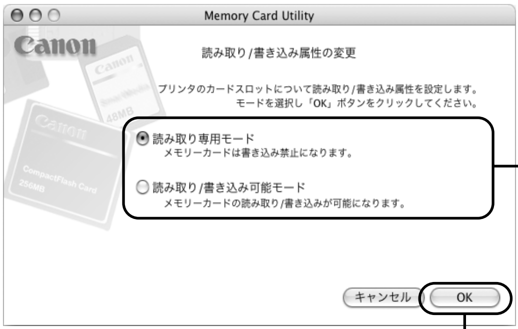
2 Memory Card Utility を開始する

❶ メモリーカードがセットされていないことを確認します。
セットされている場合は、カードスロットから取り出してください。➔ P.11

❷ プリンタドライバをインストールしたハードディスクの中の [アプリケーション] (または [Applications (Mac OS 9)]) フォルダをダブルクリックします。

❸ [PIXUS iP6100D Memory Card Utility] アイコンをダブルクリックします。
[Memory Card Utility] 画面が表示されます。

3 読み取り / 書き込み属性を設定する



❶ 読み取り / 書き込み属性を設定します。

[読み取り専用モード]
‥ カードスロットを読み取り専用として設定します。印刷するときは、必ずこのモードに設定してください。
[読み取り / 書き込み可能モード]
‥ カードスロットをメモリーカード専用ドライブとして設定し、メモリーカードへの書き込みが可能になります。

❷ [OK] をクリックします。

読み取り / 書き込み属性が設定されます。

インクタンクを交換する

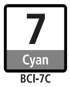
インクがなくなったときは、インクタンクを交換してください。インクタンクを交換するときは、型番や取り付け位置を間違えると正しく印刷できません。本プリンタでは、以下のインクタンクを使用しています。

- マゼンタ　：BCI-7M


- フォトマゼンタ：BCI-7PM


- イエロー　：BCI-7Y


- ブラック　：BCI-7BK


- シアン　：BCI-7C


- フォトシアン　：BCI-7PC


参考

インクタンクを取り付ける際は、インクタンクの並び順を間違えないよう、表示をよくご確認ください。インクタンクの並び順は右からマゼンタ、フォトマゼンタ、イエロー、ブラック、シアン、フォトシアンです。

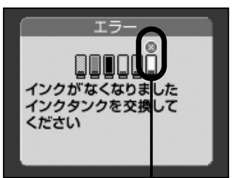
交換が必要な場合

インクがなくなると、印刷を開始したときに電源ランプが緑色に点灯後、オレンジ色に４回点滅します。液晶モニターで、なくなったインクを確認し、新しいインクタンクに交換してください。

参考

インクが残っているのに印刷がかすれたり、白すじが入る場合は、「印刷にかすれやむらがあるときは」（P.67）を参照してください。

印刷中にインクがなくなると、液晶モニターに以下のメッセージが表示されます。インクタンクを交換後、カバーを閉じると、印刷を続行します。



- ⊗ が表示されているインクタンクは、インクがありません。新しいインクタンクと交換してください。
- ［キャンセル］ボタンを押すと、印刷を中止します。
- リセットボタンを押すと、インク切れの状態で印刷を続行します。印刷が終了したら、すぐに新しいインクタンクに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因になります。

インクがなくなったインクタンク

参考

インク残量が少なくなると



このプリンタは、2 段階でインクの残量を確認できます。上記のメッセージ（インクがなくなりました）が表示される前にインク残量が少なくなると、印刷を開始したときに、液晶モニターにメッセージが表示されます。

が表示されているインクタンクは、インク残量が少なくなっています。新しいインクタンクをご用意ください。

- 印刷を続行するときは、[はい] を選び [OK] ボタンを押します。
- [いいえ] を選び [OK] ボタンを押すと、印刷を中止します。

インクが少なくなったインクタンク

交換の操作

インクタンクのインクがなくなったときは、次の手順でインクタンクを交換します。

重要

インクの取り扱いについて

- 最適な印刷品質を保つため、キヤノン製の指定インクタンクのご使用をお勧めします。
  また、インクのみの詰め替えはお勧めできません。
- インクタンクの交換はすみやかに行い、インクタンクを取り外した状態で放置しないでください。
- 交換用インクタンクは新品のものを装着してください。インクを消耗しているものを装着すると、ノズルが詰まる原因になります。また、インク交換時期を正しくお知らせできません。
- 最適な印刷品質を保つため、インクタンクは梱包箱に記載されている「推奨取付年月日」までにプリンタに取り付けてください。また開封後 6ヶ月以内に使い切るようにしてください（プリンタに取り付けた年月日を控えておくことをお勧めします）。
- 黒のみの文書やグレースケール印刷を指定した場合でも、各色のインクが使われる可能性があります。
  また、プリンタの性能を維持するために行うクリーニングやヘッドリフレッシングでも、各色のインクが使われます。
- インクがなくなった場合は、すみやかに新しいインクタンクに交換してください。

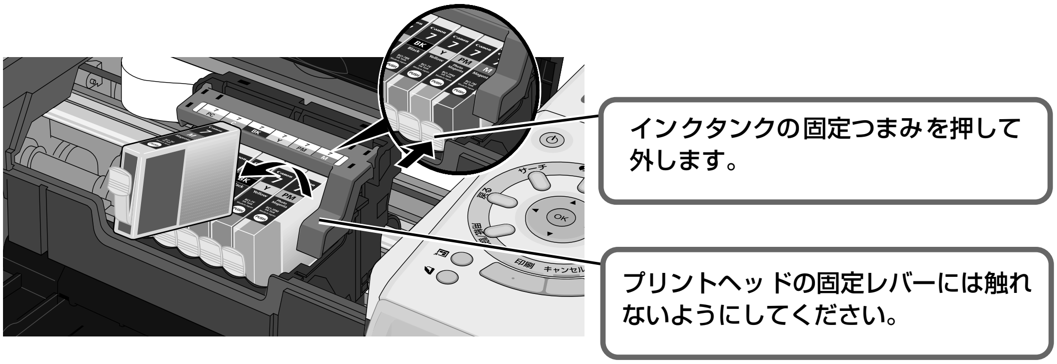
1 プリンタの電源が入っていることを確認し、カバーを開ける

プリントヘッドが中央に移動します。

2 排紙トレイが開いていることを確認し、CD-R トレイガイドを開く



3 インクのなくなったインクタンクを取り外す



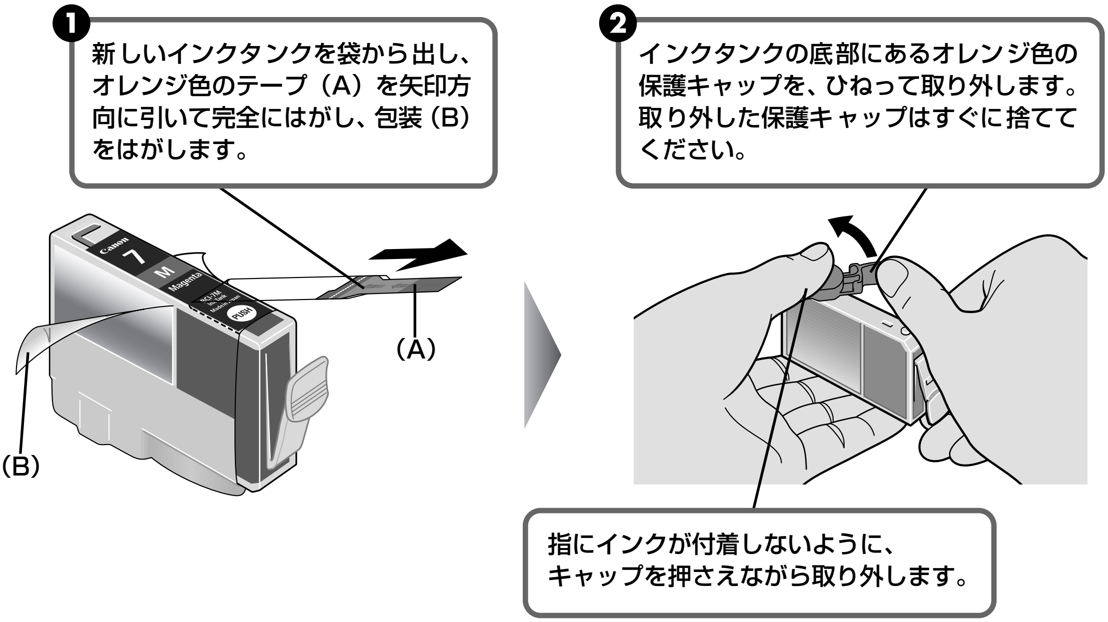
重要

- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの取り扱いには注意してください。
- 空になったインクタンクの処理については、「使用済みインクタンク回収のお願い」（P.66 ）を参照してください。

参考

複数のインクタンクを交換する場合でも、必ず一つずつ交換してください。

4 インクタンクを準備する

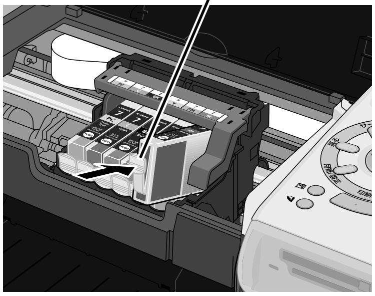


重要

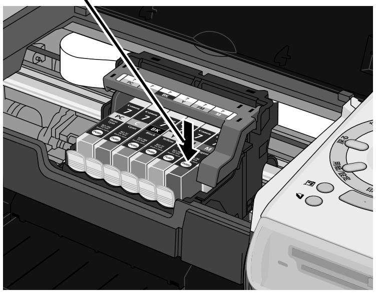
- 衣服や周囲を汚さないよう、インクタンクの包装は手順どおりにはがしてください。
- インクが飛び出すことがありますので、インクタンクの側面は強く押さないでください。
- 取り外した保護キャップは、再装着しないでください。地域の条例にしたがって捨ててください。
- 保護キャップを取り外したあと、インク出口に手を触れないでください。インクが正しく供給されなくなる場合があります。
- オレンジ色のテープはミシン目まで完全にはがしてください。オレンジ色の部分が残っていると、インクが正しく供給されない場合があります。

5 インクタンクを取り付ける

❶ 新しいインクタンクをプリントヘッドに向かって斜めに差し込みます。



❷ インクタンク上部の「PUSH」部分を押して、インクタンクを固定します。



「カチッ」という音がするまで、しっかり押してください

6 CD-R トレイガイドを閉める



参考

CD-R トレイガイドが開いた状態では、用紙が正しく送られないため、通常の用紙を使った印刷はできません。必ず CD-R トレイガイドを閉めてください。

7 カバーを閉める

プリントヘッドが右側に移動します。

重 要

次回印刷を開始すると、自動的にプリントヘッドのクリーニングが開始されます。クリーニング中は電源ランプが点滅しますので、終了するまでほかの操作を行わないでください。

使用済みインクタンク回収のお願い

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みインクタンク、BJ カートリッジの回収を推進しています。

この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては “キヤノンによる環境保全と資源の有効活用” の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済みとなったインクタンク、BJ カートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノン販売ではご販売店の協力の下、全国に 2000 拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。

回収窓口につきましては、下記、URL を入力後、「消耗品関連」メニューの「カートリッジ回収窓口」によりご確認いただけます

canon.jp/support

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みインクタンク、BJ カートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例に従い処分してください。



きれいな印刷を保つために（プリントヘッドの乾燥・目詰まり防止）

● 電源を切るときのお願い

プリンタの電源を切るときには、必ず以下の手順にしたがってください。

① プリンタの電源ボタンを押して電源を切る

② 電源ランプが消えたことを確認する（数秒から、場合によって約 20 秒かかります）

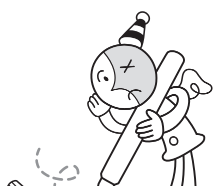
③ 電源コードをコンセントから抜く、またはテーブルタップのスイッチを切る

電源ボタンを押して電源を切ると、プリントヘッド（インクのふき出し口）の乾燥を防ぐために、プリンタは自動的にプリントヘッドにキャップをします。このため、電源ランプが消える前にコンセントから電源コードを抜いたり、スイッチ付テーブルタップのスイッチを切ってしまうと、プリントヘッドのキャップが正しく行われず、プリントヘッドが、乾燥・目詰まりを起こしてしまいます。



● 長期間お使いにならないときは

長期間お使いにならない場合は、定期的に（月 1 回程度）印刷することをお勧めします。サインペンが長期間使用されないとキャップをしていても自然にペン先が乾いて書けなくなるのと同様に、プリントヘッドも長期間使用されないと乾燥して目詰まりを起こす場合があります。



印刷にかすれやむらがあるときは

インクがまだ十分にあるのに印刷がかすれたり特定の色が出なくなったときには、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。ノズルチェックパターンを印刷してノズルの状態を確認した後に、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
また、印刷の結果が思わしくないときは、プリントヘッドの位置調整を行うと状態が改善することがあります。

参考

お手入れを行う前に

- カバーを開け、インクタンクにインクが残っているか確認してください。インクがない場合はインクタンクを交換してください。➔ P.62
- インクタンクの包装フィルムが完全にはがされているか確認してください。
- インクタンクの「PUSH」の部分を押して、インクタンクがしっかりセットされていることを確認してください。

Step 1
ノズルチェックパターンの印刷 ➔ P.68

パターンが欠けている場合

Step 2
プリントヘッドのクリーニング ➔ P.70

クリーニング後ノズルチェックパターンを印刷して確認

3 回繰り返しても改善されない場合

Step 3
ヘッドリフレッシング ➔ P.72

参考

Step3 までの操作を行っても症状が改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

罫線がずれている

Step 1
プリントヘッド位置の調整 ➔ P.73

ノズルチェックパターンを印刷する

プリントヘッドのノズルからインクが正しく出ているかを確認するために、ノズルチェックパターンを印刷してください。

参考

- CD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてください。
- ノズルチェックパターンは、プリンタのリセットボタンを押して印刷することもできます。
  ①プリンタの電源が入っていることを確認して、オートシートフィーダまたはカセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットします。
  ②プリンタの給紙切替ボタンを押して、用紙をセットした給紙箇所を選びます。
  ③リセットボタンを押し続け、電源ランプが 2 回点滅したときに離します。

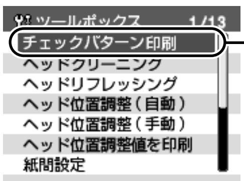
1 プリンタの電源を入れ、オートシートフィーダまたはカセットに A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする

2 ノズルチェックパターンを印刷する

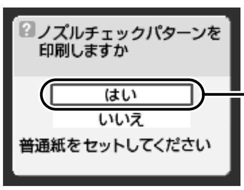
❶［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀▶ ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の一覧が表示されます。



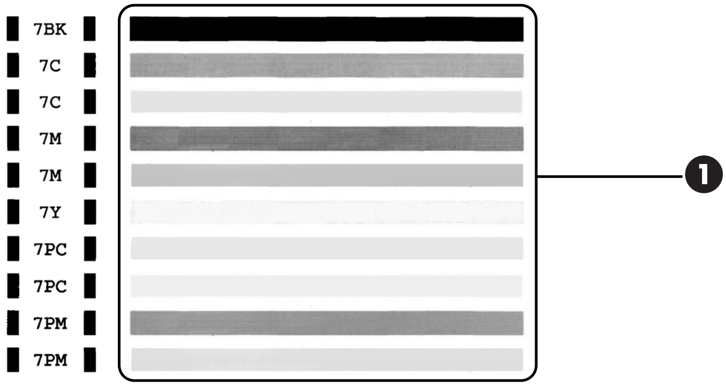
❸ ▲▼ボタンを押して［チェックパターン印刷］を選び、［OK］ボタンを押します。
パターン印刷の確認画面が表示されます。



❹ ▲▼ボタンを押して［はい］を選び、［OK］ボタンを押します。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

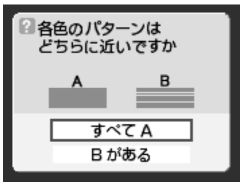
❺ ノズルチェックパターンを確認します。

ノズルチェックパターンを確認する



❶ ノズルチェックパターンを確認します。

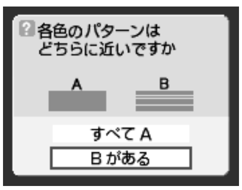
パターン印刷が終了するとパターン確認画面が表示されます。



❷ ▲▼ボタンを押して印刷されたパターンと近いほうを選び、[OK] ボタンを押します。

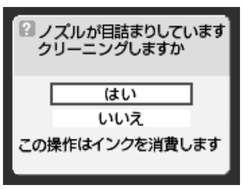
参考

『基本操作ガイド』の巻末の「インクが出ない・かすれるときは？」にノズルチェックパターンの良い例、悪い例がカラーで掲載されています。そちらもあわせてご覧ください。



パターンがすべて正常に印刷されたときは［すべて A］を選んで［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の画面に戻ります。

パターンにひとつでも白すじがある場合は［B がある］を選んで［OK］ボタンを押します。
クリーニング確認画面が表示されます。



ヘッドクリーニングを行う場合は［はい］を選んで、［OK］ボタンを押します。
ヘッドクリーニングについては「プリントヘッドをクリーニングする」(➔ P.70 ）を参照してください。

プリントヘッドをクリーニングする

ノズルチェックパターンを印刷して、パターンに欠けや白いすじがある場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。ノズルの詰まりを解消し、プリントヘッドを良好な状態にします。ただし、プリントヘッドをクリーニングすると、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。インクを消耗しますので、クリーニングは必要な場合のみ行ってください。

参考

- CD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてください。
- プリントヘッドのクリーニングは、プリンタのリセットボタンを押して行うこともできます。
  ①プリンタの電源が入っていることを確認します。
  ②リセットボタンを押し続け、電源ランプが 1 回点滅したときに離します。

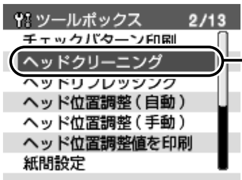
1 プリンタの電源を入れる

2 プリントヘッドをクリーニングする

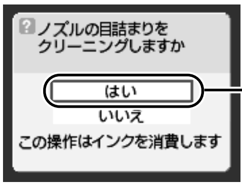
❶［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックスの一覧が表示されます。



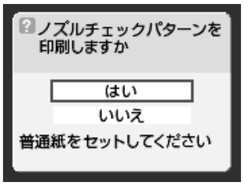
❸ ▲ ▼ボタンを押して［ヘッドクリーニング］を選び、［OK］ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



❹ ▲ ▼ボタンを押して［はい］を選び、［OK］ボタンを押します。

電源ランプが点滅するとプリントヘッドのクリーニングが開始されます。
クリーニングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 30 ～ 40 秒かかります。

3 プリントヘッドの状態を確認する



クリーニングが終了すると、ノズルチェックパターン印刷の確認画面が表示されます。
ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認してください。➔ P.68

参考

クリーニングとノズルチェックパターン印刷の操作を 3 回まで繰り返しても改善されないときには、ヘッドリフレッシングを行います。➔ P.72

プリントヘッドをリフレッシングする

プリントヘッドのクリーニングを行っても効果がない場合は、ヘッドリフレッシングを行ってください。ヘッドリフレッシングを行うと、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。ヘッドリフレッシングは、通常のクリーニングよりインクを消耗します。必要な場合のみ行ってください。

参考

CD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてください。

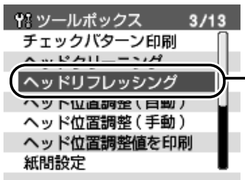
1 プリンタの電源を入れる

2 プリントヘッドをリフレッシングする

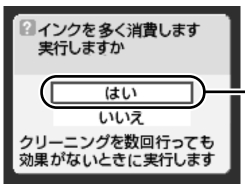
❶ ［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の一覧が表示されます。



❸ ▲ ▼ボタンを押して［ヘッドリフレッシング］を選び、［OK］ボタンを押します。
確認画面が表示されます。



❹ ▲ ▼ボタンを押して［はい］を選び、［OK］ボタンを押します。

電源ランプが点滅するとプリントヘッドのリフレッシングが開始されます。
リフレッシングが終了するまで、ほかの操作を行わないでください。終了まで約 1 分かかります。

3 プリントヘッドの状態を確認する

❶ ノズルチェックパターンを印刷してプリントヘッドの状態を確認します。➔ P.68
特定の色だけが印刷されない場合は、そのインクタンクを交換します。➔ P.63

❷ 改善されない場合は、カバーを開け、インクタンクにインクが残っていることを確認してください。その後、プリンタの電源を切って 24 時間以上経過したあとに、もう一度ヘッドリフレッシングを行います。

❸ それでも改善されない場合は、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

プリントヘッド位置を調整する － 自動調整

罫線のずれなど、プリントヘッド位置のずれが確認されたときには、プリントヘッド位置を調整します。プリントヘッド位置の調整方法は、自動調整と手動調整の 2 つがあります。初めに自動調整を行ってください。自動調整が正しく行えないときや任意に調整するときに手動調整を行います。（➔ P.76）

参考

CD-R トレイガイドが開いている場合は、CD-R トレイガイドを閉じてください。

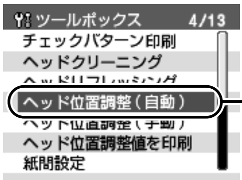
1 プリンタの電源を入れる

2 プリントヘッド位置を自動調整する

❶ ［メニュー］ボタンを押します。



❷ ◀ ▶ ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押します。
ツールボックス項目の一覧が表示されます。

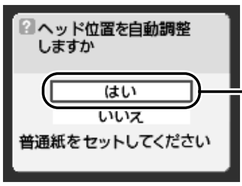


❸ ▲▼ボタンを押して［ヘッド位置調整（自動）］を選び、［OK］ボタンを押します。
確認画面が表示されます。

参考

［ヘッド位置調整値を印刷］を選ぶと、現在の調整値を印刷できます。

❹ オートシートフィーダに A4 サイズの普通紙をセットします。



❺ ▲▼ボタンを押して［はい］を選び、［OK］ボタンを押します。
パターンが印刷され、プリントヘッド位置が自動的に調整されます。

参考

自動調整が正しく行えなかったときには

自動調整が正しく行えなかったときには、電源ランプがオレンジ色に 11 回点滅し、液晶モニターに「自動ヘッド位置調整に失敗しました　リセットボタンを押し、使用説明書にしたがって対処してください」のメッセージが表示されます。以下の操作にしたがってください。

① ［リセット］ボタンを押して、エラーを解除する
② カバーを開け、インクの残量を確認し、インクがなくなっている場合は交換する ➔ P.62
③ ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認する ➔ P.68
④ プリンタの排紙口を光が当たらない向きに変え、もう一度、自動調整を行う
⑤ それでもエラーになるときは、プリントヘッド位置を手動で調整する ➔ P.76

困ったときには

プリンタを使用中にトラブルが発生したときの対処方法について説明します。

参考

ここでは、液晶モニターに表示されるエラーメッセージやデジタルカメラから直接印刷しているときに発生しやすいトラブルを中心に説明します。該当するトラブルが見つからないときには、『基本操作ガイド』または『プリンタ活用ガイド』を参照してください。

◆液晶モニターにエラーメッセージが表示されている

液晶モニターにエラー / 確認メッセージが表示されたときには、以下の対処方法にしたがってください。

エラー / 確認メッセージ	対処方法
メモリーカードに写真がありません	● セットしたメモリーカードに読み込める画像データが保存されていません。 ● 画像ファイル名（フォルダ名）に、全角文字（漢字、カナ等）があると、認識できない場合があります。全角文字を半角英数字に変更してみてください。 ● コンピュータ上で編集 / 加工したデータは、必ずコンピュータから印刷を行ってください。
廃インク吸収体が満杯に近づきました	このプリンタは、クリーニング操作などにより、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、プリンタのリセットボタンを押すと、エラーが解除されます。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めにお買い求めの販売店または修理受付窓口にプリンタの点検をご依頼ください（部品の交換が必要になる場合があります）。
カードスロットが書き込み可能に設定されています	カードスロットが［読み取り / 書き込み可能モード］になっています。 このモードに設定されていると印刷できません。 書き込みの操作を終了後、［読み取り専用モード］に戻してください。 （→ P.59）

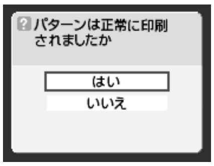
エラー / 確認メッセージ	対処方法
自動ヘッド位置調整に失敗しました リセットボタンを押し、使用説明書にしたがって対処してください	［リセット］ボタンを押して、以下の手順にしたがってください。 ① カバーを開け、インクの残量を確認し、インクがなくなっている場合は、交換する。➔ P.62 ② ノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの状態を確認する。➔ P.68 ③ プリンタの排紙口を光があたらない向きに変え、もう一度、自動調整を行う。 ④ それでもエラーになるときは､プリントヘッド位置を手動で調整してください。➔ 参考 「プリントヘッド位置を手動で調整するには」
接続中の機器と通信できません	接続されているケーブルを抜いてから、［リセット］ボタンを押してください。
未対応のデバイスが接続されました	接続されているケーブルを抜いてから、［リセット］ボタンを押し、再度ケーブルを接続してください。それでもエラーが解決されないときは、本プリンタで対応していないデジタルカメラ、デジタルビデオカメラが接続されている可能性があります。 本プリンタに対応のデジタルカメラ、デジタルビデオカメラを使用してください。
指定の用紙はカセットから給紙できません 給紙方法を変更してください	カセットからは印刷できない用紙があります。（➔ P.19）印刷したい用紙がオートシートフィーダにセットされていることを確認し、給紙切替ボタンを押して給紙方法をオートシートフィーダに変更してください。
エラーコード ＊＊＊	プリンタの電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。10分程度放置してから、再度プリンタの電源を入れ直してみてください。 それでもエラーが解決されないときには、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。

参考

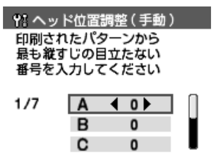
プリントヘッド位置を手動で調整するには

自動調整が正しく行えないときや任意に調整するときは、以下の操作にしたがって手動調整してください。

① プリンタの電源を入れ、A4 サイズの普通紙を 1 枚セットする
② ［メニュー］ボタンを押す
③ ◀ ▶ ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押す
④ ▲ ▼ ボタンを押して［ヘッド位置調整（手動）］を選び、［OK］ボタンを押す
　ヘッド位置調整用のパターン印刷の確認画面が表示されます。



⑤ オートシートフィーダにA4サイズの普通紙を1 枚セットして､◀ ▶ ボタンを押して［ツールボックス］を選び、［OK］ボタンを押す
⑥「パターンは正常に印刷されましたか」のメッセージが表示されたら、正常に印刷されていることを確認し、［はい］を選び、［OK］ボタンを押す

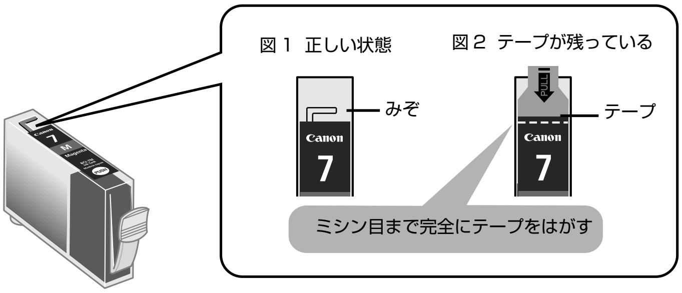


⑦ 印刷されたパターンを見て、最も縦すじの目立たない A 列のパターン番号を ◀ ▶ ボタンを押して入力する
⑧［OK］ボタンを押す
⑨ ▼ ボタンを押して、B 列にカーソルを移動する
⑩ 操作⑦〜⑨を繰り返し、G 列までのパターン番号を入力する
⑪ G 列までのパターン番号を入力後、［OK］ボタンを押す

◆液晶表示が見えない / 見えにくい

原因	対処方法
液晶表示がはっきりと見えない / 見えにくい	液晶モニターのコントラストが強すぎたり、弱すぎる場合には、[ツールボックス] の [コントラスト調整] で液晶モニターのコントラストを調整してみてください。「液晶モニターのコントラストを調整する」(➔ P.43)
液晶表示が見えない	液晶モニターがスリープモードになっていることが考えられます。 ▲▼◀▶ボタンのどれか 1 つのボタンを押して、スリープモードを解除してください。

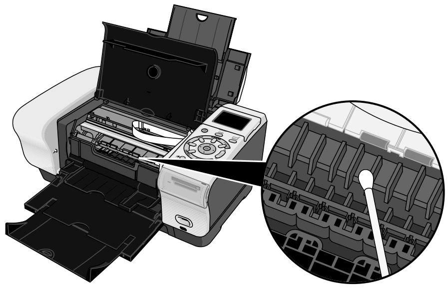
◆印刷されない / 印刷がかすれる / 違う色になる / 白いすじが入る

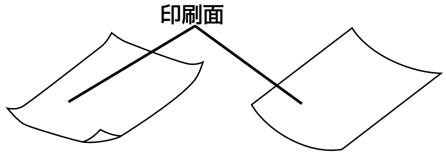
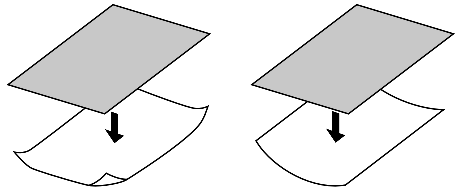
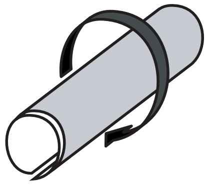
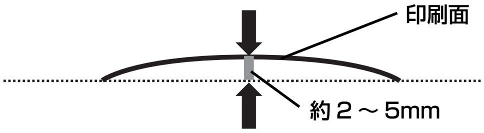
原因	対処方法
インクタンクがしっかりセットされていない / インクがない	カバーを開け、インクタンクのラベル上の「PUSH」部分を押して、インクタンクがしっかりセットされているかどうか確認してください。 また、オレンジ色のテープが下の図 1 のようにすべてはがされていることを確認してください。図 2 のようにオレンジ色の部分が残っている場合は、オレンジ色の部分をすべて取り除いてください。  インクがなくなっていたら新しいインクタンクに交換してください。 ➔ P.62
操作パネルで正しい用紙が選ばれていない	操作パネルで選ばれている用紙の種類が、セットする用紙の種類と合っているか確認してください。
プリントヘッドの目づまり / プリントヘッドの位置ずれ	ノズルチェックパターンを印刷してください。 ➔「ノズルチェックパターンを印刷する」(P.68) ● インクが正常に出ていない場合 ➔「プリントヘッドをクリーニングする」(P.70) ➔「プリントヘッドをリフレッシングする」(P.72) ● ヘッド位置がずれている場合 ➔「プリントヘッド位置を調整する ― 自動調整」(P.73) 一度取り外した保護キャップを再度取り付けると、ゴミが付着したり空気が入ったりしてインクが出なくなることがあります。

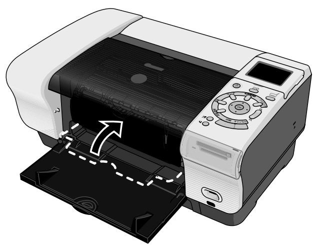
用紙の裏表を間違えている	用紙の裏表を間違えてセットしていないかどうか確認してください。

CD-R トレイガイドが開いている	CD-R/DVD-R 以外の用紙に印刷する場合は、CD-R トレイガイドを閉じ、プリンタのリセットボタンを押してください。

◆用紙が汚れる / 印刷面がこすれる / 用紙がうまく送られない

原因	対処方法
プリンタ内部の突起が汚れている	プリンタの内部が汚れている場合は、綿棒などを使ってインク汚れをていねいに拭き取ってください。  重要 プリンタの内部を清掃するときは、プリンタの電源を切ってください。

適切な用紙を使用していない	● 厚い用紙を使用していないかどうか確認してください。➔「使用できない用紙について」（P.12） ● フチなし全面印刷を行っている場合は、用紙の上端および下端の印刷品位が低下する場合があります。お使いの用紙が、フチなし全面印刷のできる用紙かどうか確認してください。 ● 四隅や印刷面全体に反りのある用紙を使用した場合、用紙が汚れたり、うまく送られなかったりする恐れがあります。以下の手順で反りを修正してから使用してください。 ① 印刷する用紙の印刷面を上にして置きます。  ② 印刷面が汚れたり傷付くことを防ぐために、印刷しない普通紙などを 1 枚重ねます。  ③ 下の図のように反りと逆方向に丸めます。  ④ 印刷する用紙が、印刷しない面の方向に約 2 ～ 5mm 以内で反っていることを確認します。  反りを修正した用紙は、1 枚ずつセットして印刷することをお勧めします。

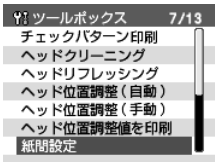
CD-R トレイガイドがしっかり閉っていない	CD-R/DVD-R 以外の用紙に印刷する場合は、CD-R トレイガイドをしっかり閉じてください。少しでも開いていると、用紙が正しく送られません。 

参考

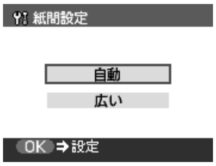
それでも印刷面がこすれるときには

以下の操作にしたがって、[紙間設定] を［広い］に設定してください。
この操作はカメラダイレクト印刷時にも有効です。

①［メニュー］ボタンを押す
② ◀ ▶ ボタンを押して［ツールボックス］を選び、[OK］ボタンを押す



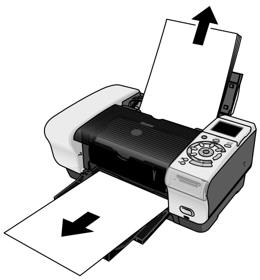
③ ▲ ▼ ボタンを押して［紙間設定］を選び、[OK］ボタンを押す

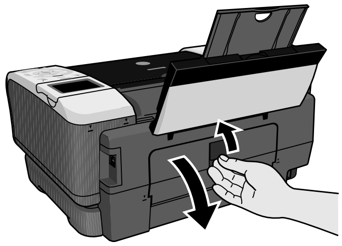
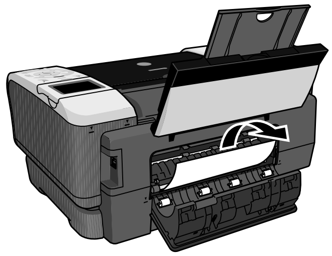


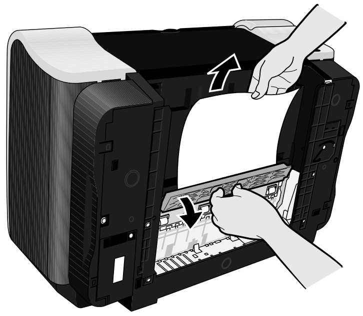
④ ▲ ▼ ボタンを押して［広い］を選び、[OK］ボタンを押す

※ 印刷を終了後は、同様の操作で［紙間設定］を［自動］に戻してください。

◆用紙がつまった

原因	対処方法
排紙口で用紙がつまった	**次の手順にしたがって用紙を取り除きます。** ① **排紙口から用紙をゆっくり引っ張り、用紙を取り除く**  ● オートシートフィーダで用紙がつまっている場合は、オートシートフィーダからゆっくり引っ張ってください。 ● 用紙が引き抜けない場合は、電源ボタンを押して電源を切り、再度電源を入れ直してください。 用紙が自動的に排出されます。 ② **①で用紙を取り除けなかった場合や、用紙が破れてプリンタ内部に残った場合は、カバーを開けて用紙を取り除く** 内部の部品には触れないようにしてください。 用紙を取り除いたら、カバーを閉じてください。 ③ **用紙をセットし直し、プリンタのリセットボタンを押す** ● 手順①で電源を入れ直した場合、プリンタに送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。 ● A5 サイズの用紙は文字中心の原稿の印刷に適しています。 写真やグラフィックスを含む原稿の印刷にはお勧めできません。 用紙がカールして排出不良の原因となることがあります。 **用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。**

搬送ユニットで用紙がつまった	次の手順にしたがって用紙を取り除きます。 ① 背面カバーを開ける  ② 用紙が見えている場合は、用紙をゆっくり引っ張る  ● プリンタ内部の部品には触れないようにしてください。 ● 用紙が引き抜けない場合は、電源ボタンを押して電源を切り、再度電源を入れ直してください。 用紙が自動的に排出されます。 ③ 背面カバーを閉じる ④ ②で用紙を取り除けなかった場合は、カセットを取り出す ⑤ 用紙をゆっくり引っ張る  ⑥ カセットから用紙がはみ出している場合は、セットし直す ⑦ 用紙とカセットをセットし直し、プリンタのリセットボタンを押す ● 手順②で電源を入れ直した場合、プリンタに送信されていた印刷データが消去されますので、もう一度印刷の指示をしてください。 用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

両面搬送部で用紙がつまった	次の手順にしたがって用紙を取り除きます。 ① カセットを取り外す オートシートフィーダに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除いて給紙口カバーを閉じてください。 ② 背面側を下にして、プリンタ本体を立てる 注意 カバーと給紙口カバーに手を添えて、プリンタを立ててください。 ③ 緑色のカバーを手前に開きながら用紙をゆっくり引っ張る  注意 つまった用紙を取り除いたあとは、速やかにプリンタを元の位置に戻してください。 ④ カセットから用紙がはみ出している場合は、セットし直す オートシートフィーダに用紙をセットしていた場合は、用紙をセットし直してください。 ⑤ カセットをセットする ⑥ プリンタのリセットボタンを押す 用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

横向きにセットした名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙が、プリンタ内部でつまった	名刺サイズ用紙、カードサイズ用紙は横向きにセットしないでください。 「排紙口 用紙がつまりました」というメッセージが液晶モニターに表示されている場合は、次の手順にしたがってつまった用紙を取り除きます。 ① 同じ用紙を１枚、オートシートフィーダに縦向きにセットする 横向きにはセットしないでください。 ② プリンタの電源ボタンを押して電源を切る 電源ボタンを押してから実際に電源が切れるまで、時間がかかる場合があります。 ③ プリンタの電源ボタンを押して電源を入れる 用紙が給紙され、詰まった用紙を押し出しながら排紙されます。 用紙が引き抜けない場合や、紙片が取り除けない場合、また取り除いても用紙づまりエラーが解除されない場合には、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

◆デジタルカメラからうまく印刷できない

デジタルカメラやデジタルビデオカメラ * から直接印刷を行ったときに、カメラにエラーが表示される場合があります。表示されるエラーと対処方法は以下のとおりです。
* 以降、デジタルカメラ、デジタルビデオカメラを総称して、カメラと記載します。

参考

- 本プリンタと接続して直接印刷できるのは、“PictBridge”対応または、キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラです。
- 以下の説明は、キヤノン製“PictBridge”対応または、キヤノン“Bubble Jet Direct”対応のカメラに表示されるエラーについて説明しています。ご使用のカメラにより表示されるエラーやボタン操作が異なる場合があります。キヤノン製以外の“PictBridge”対応カメラを使用して、カメラからプリンタエラーの解除方法がわからない場合は、プリンタの電源ランプの点滅状態を確認してエラーを解除してください。プリンタのエラー解除方法は『基本操作ガイド』の「電源ランプがオレンジ色に点滅している」を参照してください。
- “PictBridge”または、キヤノン“Bubble Jet Direct”未対応のカメラを接続したときには、プリンタの電源ランプが 9 回点滅します。このときは、接続ケーブルを抜き、プリンタのリセットボタンを押してください。
- 接続した状態での操作時間が長過ぎたり、データ送信に時間がかかり過ぎる場合は、通信タイムエラーとなり印刷できない場合があります。そのときは、カメラから一度接続ケーブルを抜いてからプリンタのリセットボタンを押し、再度ケーブルを接続してください。ケーブルを接続しただけでは、自動で電源が入らないカメラをお使いの場合は、手動で電源を入れてください。それでも改善されない場合は、他の写真を選んで印刷できるかどうかを確認してください。
- 印刷にかすれやむらがあるときは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしている可能性があります。「印刷にかすれやむらがあるときは」（➔ P.67 ）を参照して対処してください。
- 印刷時に用紙がカールしたり、印刷面がこすれたりした場合は、適切な用紙に印刷しているか確認してください。適切な用紙に印刷しても印刷面がこすれるときは、「それでも印刷面がこすれるときには」（➔ P.80 ）を参照して対処してください。
- 表示されるエラーや対処方法については、カメラに付属の使用説明書もあわせて参照してください。その他、カメラ側のトラブルについては、各機器の相談窓口へお問い合わせください。

カメラ側エラー表示	対処方法
プリンターは使用中です / プリンターは準備中です	コンピュータなどから印刷しています。 印刷が終了するまでお待ちください。 または、準備動作を行っている場合は、終了するまでお待ちください。
ペーパーがありません / ペーパーエラー	プリンタに用紙をセットするか、給紙切り替えボタンで用紙がセットされている給紙先（オートシートフィーダまたはカセット）を指定して、カメラのエラー画面で［続行］* を選んでください。 また、排紙トレイが閉じている場合は、開けてください。印刷を再開します。
ペーパーが詰まりました	カメラのエラー画面で [中止] を選び、印刷を中止してください。 用紙を取り除き、用紙をセットし直してからプリンタのリセットボタンを押し、再度印刷を行ってください。
プリンターカバーが開いています	プリンタのカバーを閉じてください。

プリントヘッド未装着	プリントヘッドが装着されていないか、プリントヘッドの不良です（プリンタの電源ランプ5回点滅）。 『かんたんスタートガイド』の説明にしたがって、プリントヘッドを取り付けてください。 プリントヘッドがすでに取り付けられている場合は、取り外して接点部分が汚れていないことを確認し、取り付け直してください。 それでもエラーが解決されないときには、プリントヘッドが故障している可能性があります。お買い求めの販売店または修理受付窓口にご連絡ください。
廃インクタンク（廃インク吸収体）が満杯です	廃インク吸収体が満杯になりそうです。 このプリンタは、クリーニング操作などにより、余分なインク（廃インク）が廃インク吸収体に吸収されます。 この状態になった場合、カメラのエラー画面で［続行］* を選ぶと、印刷を再開します。しばらくの間は印刷できますが、満杯になると印刷できなくなります。お早めにお買い求めの販売店または修理受付窓口にプリンタの点検をご依頼ください（部品の交換が必要になる場合があります）。
インクが残りわずかです	そろそろインクタンクの交換時期です。新しいインクタンクをご用意ください。カメラのエラー画面で［続行］を選ぶと、印刷を再開します。
インクがありません	インクタンクのインクがありません。 新しいインクタンクと交換してください。➔ P.62 インクを交換してカバーを閉じると、印刷を再開します。カメラのエラー画面で［続行］* を選ぶと、インク切れの状態で印刷を続行します。印刷が終了したら、すぐに新しいインクタンクに交換してください。インク切れの状態で印刷を続けると、故障の原因になります。
プリンタートラブル発生	サービスが必要なエラーが起こっている可能性があります（プリンタの電源ランプがオレンジ色と緑色に交互に点滅）。 カメラのエラー画面で［中止］を選び、印刷を中止してください。 デジタルカメラと接続されているケーブルを抜いてからプリンタの電源を切り、プリンタの電源プラグをコンセントから抜いてください。10分程度放置してからプリンタの電源を入れ直し、デジタルカメラを接続してみてください。それでも回復しない場合は、お買い求めの販売店または修理受付窓口にご相談ください。

*：［続行］を選ぶ代わりに、プリンタのリセットボタンを押しても有効です。

写真をきれいに印刷しよう

印刷設定を変更して、写真をよりきれいに印刷してみましょう。
印刷設定の変更のしかたについては本書24ページをご覧ください。

補　正

写真が暗すぎたり、明るすぎたりしたときは


APP OFF


APP ON *

海や空、草原などの風景写真をより鮮やかに印刷したいときは


VIVIDフォト OFF *


VIVIDフォト ON

空などの青い部分や、暗い部分にノイズが多いときは


ノイズ除去 OFF *


ノイズ除去 ON

逆光などで写真が暗くなったときは


顔明るく補正 OFF *


顔明るく補正 ON

* 初期設定

色調整

写真に合わせて明るさやコントラスト、色合いを調整してみましょう！

明るさ


明るさ −2

暗く


明るさ 標準

明るく


明るさ ＋2

コントラスト


コントラスト −2

弱く


コントラスト 標準

強く


コントラスト ＋2

色合い


肌色 赤 ＋2

赤色強く


色合い 調整なし

黄色強く


肌色 黄 ＋2

加　工

セピア色やイラスト風に印刷すると、おもむきのある写真が出来上がり！


加工なし


セピア


イラストタッチ

●キヤノンPIXUSホームページ

新製品情報、Q&A、各種ドライバのバージョンアップなど製品に関する情報を提供しております。

キヤノンホームページ　canon.jp/PIXUS

※通信料はお客様のご負担になります。

●お客様相談センター

PIXUS・BJプリンタに関するご質問・ご相談は、下記の窓口にお願いいたします。

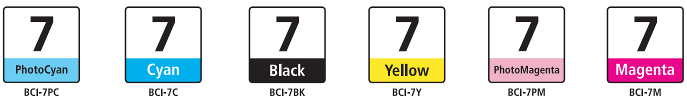
お客様相談センター
全国共通電話番号　ナビダイヤル　**0570-01-9000**
商品該当番号：【41】

【受付時間】〈平日〉9:00～20:00、〈土日祝日〉10:00～17:00（1/1～1/3を除く）

※PHSをご使用の方、海外からご利用の方、ナビダイヤルをご利用いただけない方は043-211-9330をご利用ください。
※音声応答システム・受付時間・該当番号は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



このプリンタで使用できるインクタンク番号は、以下のものです。



※インクタンクの交換については、62ページをお読みください。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。
関連法律：刑法第148条、第149条、第162条／通貨及証券模造取締法第1条、第2条　等

再生紙を使用しています。

Canon

QA7-3373-V02

PRINTED IN THAILAND